本書の構成

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。必ずお読みください。

第 1 章　ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

第 2 章　快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや画面の設定方法などについて説明しています。

第 3 章　リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明しています。

第 4 章　困ったときに

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

第 5 章　技術情報

お使いになるうえでの留意事項を説明しています。

目次

本書をお読みになる前に 5
お問い合わせ一覧 5
本書の表記 6

第 1 章　ご購入後の操作
1 セットアップ 10
Windows2000 セットアップ 10
ネットワークの設定 13
モデムを使用可能にする（モデムモデルとコンボモデル） 14
タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル） 15
2 ユーザー登録と起動ディスクのコピー 17
ユーザー登録を忘れずに 17
リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー 17
3 プレインストール仕様 20
ソフトウェア一覧 20
デバイス一覧 22
ドライブ構成 24
アプリケーションのアンインストール 25

第 2 章　快適にお使いいただくために
1 コンピュータウイルス対策 28
VirusScan 28
コンピュータウイルスを発見した場合 29
コンピュータウイルスの被害届け 29
2 画面を設定する 31
解像度と色数 31
表示装置を切り換える 34
ローテーション機能を使う（〔MC〕タッチパネルモデル） 36
3 省電力 38
スタンバイ／レジューム機能 38
ご購入時の節電の設定 42
「電源オプションのプロパティ」での設定 42
PMSet98 での設定 44
4 ワイヤレスリンク 46

第 3 章　リカバリとインストール

1 リカバリ 48
リカバリの概要 48
ハードディスクの領域を設定する 49
リカバリ方法 51
2 ソフトウェアのインストール 54
ドライバのインストール 54
プレインストールソフトのインストール 55
添付ソフトのインストール 57

第 4 章　困ったときに

1 こんなときには 64
トラブル発生時の参照先 64
トラブルシューティング 64
Windows2000 に関する Q&A 67
2 それでも解決できないときは 71
お問い合わせ前の確認シート 72

第 5 章　技術情報

1 その他の留意事項 74

索引 79

本書をお読みになる前に

お問い合わせ一覧

本パソコンに添付されているソフトウェアの内容については、次の連絡先にお問い合わせください。なお、記載の情報は、2000 年 5 月現在のものです。電話番号などが変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください。

- **はじめよう！インターネット（@nifty）**
  - 入会／ @nifty サービス全般
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-816-042
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5444-2902）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - テクニカルサポート
    ニフティ株式会社 @nifty サービスセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-818-275
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5753-2373）
    E-mail：feedback@nifty.com
  - パスワード再発行／各種手続き／解約
    ニフティ株式会社 @nifty カスタマーセンター
    9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
    電話：0120-842-210
    （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
    E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY MANAGER for Windows Version 5.12**
  ニフティマネジャーでの接続や操作方法について
  ニフティ株式会社 ニフティマネジャー
  サポートセンター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-326-526
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **NIFTY SERVE（パソコン通信サービス）の利用に関して**
  ニフティ株式会社 パソコン通信サポート
  センター
  9:00 ～ 21:00（指定の休日を除く）
  電話：0120-22-1200
  （携帯・PHS・海外の場合：03-5471-5806）
  E-mail：feedback@nifty.com
- **10 円メールマスター Ver.2**
  マスターネット株式会社 会員サポートダイヤル
  10:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：0120-526-900、03-5381-4500
  FAX：03-5381-4511
  E-mail：support@mnx.ne.jp
- **VirusScan Ver.4.5.0 for Windows2000**
  日本ネットワークアソシエイツ株式会社
  テクニカルサポートセンター
  9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土日、祝祭日を除く）
  電話：03-3379-7770
- **Adobe Acrobat Reader4.05**
  ソフトウェア提供会社様より無償で提供されている製品のため、ユーザーサポートはございません。ご了承ください。
- **アプリケーション（カスタムメイドオプション）**
  各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
- **その他　FM シリーズの技術的なご質問・ご相談**
  FM インフォメーションサービス
  （添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください）

本ソフトウェア製品の中には第三者のソフトウェア製品が含まれています。お客様の本ソフトウェア製品の使用開始については、お客様が弊社の「ご使用条件」に同意された時点とし、第三者のソフトウェア製品についても同時に使用開始とさせていただきます。
なお、第三者のソフトウェアについては、製品の中に特に記載された契約条件がある場合には、その契約条件にしたがい取り扱われるものとします。

本書の表記

本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになる際の注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	ハードウェアやソフトウェアを正しく動作させるために必要なことが書いてあります。必ずお読みください。
→	参照ページや参照マニュアルを示しています。

キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：**【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど**

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：**【Ctrl】+【F3】キー、【Shift】+【↑】キーなど**

画面例

本書に記載されている画面は一例です。実際に表示されるウィンドウやファイル名などとは異なる場合があります。ご了承ください。

コマンド入力（キー入力）

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy  a:  a:
          ↑   ↑
```

- ↑の箇所のように文字間隔を空けて表記している部分は、【Space】キー（キーボード手前中央にある何も書かれていない横長のキー）を 1 回押してください。
- コマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。
- CD-ROM ドライブのドライブ名を、［CD-ROM ドライブ］と表記しています。入力の際は、お使いの環境に合わせて、ドライブ名を入力してください。

  [CD-ROMドライブ]:¥setup.exe

連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

BIOS セットアップの表記

本文中の BIOS セットアップの設定手順において、各メニューやサブメニューまたは項目を、「ー」（ハイフン）でつなげて記述する場合があります。

例：「メイン」メニューの「フロッピーディスク A」の項目を「使用しない」に設定します。

↓

「メイン」ー「フロッピーディスク A」：使用しない

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブ

フロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブが搭載されていないモデルの場合、各ドライブが必要な操作では、別売のオプションを用意してください。使用できるオプションについては、『システム構成図』をご覧ください。

オプションの使用方法についてはオプションのマニュアルをご覧ください。

お問い合わせ先／ URL

本文中に記載されているお問い合わせ先や WWW の URL は 2000 年 5 月現在のものです。変更されている場合は、FM インフォメーションサービスへお問い合わせください（→『修理サービス網一覧表』参照）。

製品の呼びかた

本書に記載されている製品名称を、次のように略して表記します。

Microsoft® Windows® 2000 Professional を、Windows2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITION を、Windows98 と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system を、Windows95 と表記しています。

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 を、WindowsNT 4.0 または WindowsNT と表記しています。

Microsoft® MS-DOS® operating system Version 6.2/V を、MS-DOS と表記しています。

NIFTY MANAGER for Windows Ver 5.12 を、NIFTY MANAGER と表記しています。

VirusScan Ver.4.5.0 for Windows2000 を、VirusScan と表記しています。

10 円メールマスター Ver.2 を、10 円メールマスターと表記しています。

Intel® SpeedStep™ Technology Applet を、Intel SpeedStep と表記しています。

Adobe® Acrobat® Reader 4.05 を、Acrobat Reader と表記しています。

ドライバーズ CD ／マニュアル CD をドライバーズ CD と表記しています。

機種名表記

本文中の機種名表記は、次のようになっています。機種名を確認してください。

機種名	本文中の表記	
FMV-6750NA7/B	〔NA〕	本パソコン パソコン本体
FMV-6650NU7/L FMV-6600NU7/L FMV-650NU7C/L FMV-650NU7C/W	〔NU〕	
FMV-6600MF7/X FMV-645MF7C/W	〔MF〕	
FMV-645MC7C/W	〔MC〕	

モデル	本文中の表記
モデムのみ搭載	モデムモデル
LAN のみ搭載	LAN モデル
モデムと LAN 搭載	コンボモデル
モデムと PDC コネクタ搭載	モデムモデル（PDC コネクタ付き）
〔MC〕タッチパネル搭載	〔MC〕タッチパネルモデル
〔MC〕タッチパネル搭載なし	〔MC〕ベースモデル

Microsoft、Windows、MS、MS-DOS、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
K56flex は、Lucent Technologies 社、Conexant Systems Inc. の商標です。
VirusScan は、米国 Network Associates 社及び関連会社の商標又は登録商標です。
Intel® SpeedStep™ Technology は、米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2000
画面の使用に際して米国 Microsoft Corporation の許諾を得ています。

第 1 章

ご購入後の操作

お買い求めいただいたパソコンを使えるようにするための操作を説明しています。必ず、本書の手順に従って操作してください。

1　セットアップ 10
2　ユーザー登録と起動ディスクのコピー 17
3　プレインストール仕様 20

1 セットアップ

初めて電源を入れたあとに行うWindows2000の初期設定（Windows2000セットアップ）について説明します。必ず、本書の手順に従って操作してください。

Windows2000 セットアップ

次の「留意事項」をよくお読みになり、電源を入れて Windows2000 セットアップを始めます。なお、内蔵ポインティングデバイスがない場合には、あらかじめマウスを用意してください。

留意事項

- Windows2000 セットアップを行う前に、オプションを取り付けないでください（カスタムメイドオプションを除く）。
  Windows2000セットアップを行う前にオプションを取り付けると、Windows2000セットアップが正常に行われない場合があります。
- LAN モデルとコンボモデルは、セットアップが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示される場合があります。
- Windows2000 セットアップ時に音が鳴るので、スピーカーのボリュームを調整してください。
- Windows2000 セットアップの各ダイアログボックスが完全に表示されないうちにキーを押すと、Windows2000 セットアップが正常に行われない場合があります。ダイアログボックスが完全に表示されてから、ポインティングデバイスで操作してください。
- 〔NU〕ワイヤレスマウス添付モデルは、内蔵ポインティングデバイスで Windows2000 セットアップを操作してください。

セットアップ

1 内蔵ポインティングデバイスがない場合、マウスを取り付けます（→『ハードウェアガイド』参照）。

2 AC アダプタを接続し、本パソコンの電源を入れます。
しばらくすると、「Windows 2000 セットアップウィザードの開始」が表示されます。

3 「次へ」をクリックします。
「ライセンス契約」が表示されます。
「使用許諾契約書」は、本パソコンにあらかじめインストールされている Windows2000 を使用するうえでの契約を記述したものです。

4 「使用許諾契約書」をよく読み、「同意します」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「同意しません」を選択した場合は、「次へ」をクリックしたあと、メッセージに従って操作してください。

「ソフトウェアの個人用設定」が表示されます。

5 「名前」と「組織名」を入力し、「次へ」をクリックします。

「コンピュータ名と Administrator のパスワード」が表示されます。

6 「コンピュータ名」、「Administrator のパスワード」と「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。

モデムモデルは、手順 9 へ進んでください。

LAN モデルとコンボモデルは、「ネットワークの設定」が表示されます。

ネットワークの設定については、セットアップ完了後にネットワーク管理者に確認し、ご使用の環境に合わせて設定してください（→ P.13）。

7 「標準設定」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「標準設定」では、次のネットワークコンポーネントがインストールされます。
  - Microsoft ネットワーク用クライアント
  - Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
  - インターネットプロトコル（TCP/IP）

「ワークグループまたはドメイン名」が表示されます。

8 「このコンピュータはネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している」をクリックし、「次へ」をクリックします。

「Windows 2000 セットアップウィザードの完了」が表示されます。

9 「完了」をクリックします。

10 「再起動する」をクリックするか、または 15 秒待つと本パソコンが再起動します。

- LAN モデルとコンボモデルの場合

  「ネットワーク識別ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

  「このコンピュータのユーザー」が表示されます。
- モデムモデルの場合

  「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されます。手順 13 へ進んでください。

重 要

- LAN モデルとコンボモデルで、「ネットワーク識別ウィザード」ダイアログボックスが表示されたとき、「戻る」をクリックしないでください。
  再設定が必要な場合は、設定終了後に該当個所を修正してください。

11 「ユーザーはこのコンピュータを ...」をクリックし、「次へ」をクリックします。

POINT

- 「ユーザーはこのコンピュータを ...」を選択した場合は、Windows2000 起動時に「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示され、「常に次のユーザーがこのコンピュータに ...」を選択した場合は、「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されずに自動的にログオンされます。

「ネットワーク識別ウィザードの終了」が表示されます。

12 「完了」をクリックします。

「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示されます。

13 手順 6 で入力したパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスが表示されます。

POINT

- 本パソコンでは、「Windows 2000 の紹介」ダイアログボックスにある「Windows について」をクリックすると、「Windows CD が見つかりません」と表示されます。この場合は「キャンセル」をクリックしたあと、「ディスカバーツアーが見つかりません」ダイアログボックスで「c:¥support¥discover」と入力し、「OK」をクリックしてください。
- 「デジタル署名が見つかりませんでした」ダイアログボックスが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

これで、Windows2000 セットアップが完了しました。
カスタムメイドオプションでアプリケーションを選択している場合は、添付の『アプリケーション補足説明書』をご覧ください。
また、ご使用の機種やモデルに応じて、以下の記述をご覧ください。

LAN モデルとコンボモデル	「ネットワークの設定」（→ P.13）
モデムモデルとコンボモデル	「モデムを使用可能にする（モデムモデルとコンボモデル）」（→ P.14）
〔MC〕タッチパネルモデル	「タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル）」（→P.15）

ネットワークの設定

LAN モデルは、Windows2000 セットアップ後に、お使いのネットワーク環境に合わせて、以降の手順に従って設定を行ってください。

ネットワークコンポーネントのインストール

POINT

- 使用するネットワークコンポーネントについては、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイネットワーク」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ネットワークとダイヤルアップ接続」ウィンドウが表示されます。

2 「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インストール」をクリックします。
「ネットワークコンポーネントの種類の選択」ダイアログボックスが表示されます。

4 設定するネットワークコンポーネントを選択し、「追加」をクリックします。
以降、メッセージに従って設定を行います。

ネットワーク ID の設定

POINT

- 設定するネットワーク ID（コンピュータ名やドメイン名など）については、ネットワーク管理者に確認してください。

1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

2 「ネットワーク ID」タブをクリックします。

3 「ネットワーク ID」または「プロパティ」をクリックし、コンピュータ名やユーザー名の設定を行います。

モデムを使用可能にする（モデムモデルとコンボモデル）

1 「コントロールパネル」ウィンドウの「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

「所在地情報」ダイアログボックスが表示されます。

2 各項目を入力し、「OK」をクリックします。

- 国
- 市外局番
- 外線発信番号
- ダイヤル方法：トーンまたはパルス

「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。

3 「新しい所在地」または「所在地情報」が選択されていることを確認し、「編集」をクリックします。

「所在地の編集」ダイアログボックスが表示されます。

4 各項目を入力し、「OK」をクリックします。

- 所在地：入力してください。
- 国／地域：日本
- 市外局番：使用する場所の市外局番（既に番号が入力されている場合もありますが、使用する場所の情報を入力してください）
- 市内通話の場合の外線発信番号：0 などの外線につなぐための番号（必要な場合のみ）
- 市外通話の場合の外線発信番号：0 などの外線につなぐための番号（必要な場合のみ）
- キャッチホン機能を解除するための番号：チェックするとドロップダウンで選択
- ダイヤル方法：トーン（プッシュ回線の場合）またはパルス（ダイヤル回線の場合）

「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。

5 「OK」をクリックします。

モデムモデルとコンボモデルで「携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102）」を使用して移動体通信を行う場合は、「携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102）を使用した移動体通信」（→ P.77）をご覧ください。

タッチパネルの調整（〔MC〕タッチパネルモデル）

ペンで画面をタッチした位置とマウスポインタの位置がずれている場合は、ペンのタッチ位置調整を行ってください。

調整方法

1 Administrator でログオンします。

2 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「補正ツール」の順にクリックします。
白い補正画面が表示されます。

3 添付のペンで画面の赤い「＋」マークの近くをタッチし、タッチしたままペンを十字の中心に移動して、ペンをタッチパネルから離します。
このとき の位置は調整には無関係です。十字からずれていてかまいません。ペンでタッチして離した位置によって調整が行われます。
【Tab】キーを押して を表示しないようにすることもできます。
タッチすると「＋」マークが移動します。

4 同様に、順に 12ヶ所の点をタッチします。

POINT

- ペンの先を「＋」マークの交点に合わせて、正確にタッチしてください。
- 操作中は、手などがタッチパネルに触れないようにしてください。
- 続けて 2 回タッチしたときは、【←】【→】【↑】【↓】キーを押して「＋」マークを移動し、もう一度タッチしてください。

5 【Enter】キーを押します。
調整結果を確認する画面が表示されます。

POINT

- 「補正点が不正です。再入力して下さい。」と表示されたら、「OK」をクリックし、手順 3 からやり直してください。

6 画面の四隅や中央部分をなぞり、正しく調整されているか確認します。
再度調整する場合は、【Fn】キーを押しながら【←】キーを押し、手順 3 からやり直してください。

7 正しく調整されたら、【Enter】キーを押します。
「補正ツール」が終了します。
これで、タッチパネルが調整されました。

留意事項

- アイコンを右クリックするには、次の方法があります。
  - 【 】（アプリケーション）キーを押す
    1 右クリックしたいアイコンの近くにペンを軽く押し付けます。
    2 アイコンの上までドラッグしてペンを移動します。
    3 【 】（アプリケーション）キーを押します。
  - 【Ctrl】キーを押す
    次の 2 種類の方法があります。
    ・【Ctrl】キーを押しながらタッチする。
    ・【Ctrl】キーを一度押してからタッチする。
    設定方法は次のとおりです。
    1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Fujitsu Touch Panel」→「タッチパネルの設定」の順にクリックします。
    2 「つかう」をチェックし、「OK」をクリックします。
- タスクバーのアイコンが表示されない場合はクイックポイント IV で操作してください。
- タッチパネル調整を行ったあと、タスクバーに「タッチパネル補正ツール」のタスクが残ることがあります。タッチパネルの調整は終了していますので、「タッチパネル補正ツール」をクリックして表示を消してください。

2 ユーザー登録と起動ディスクのコピー

セットアップが終了したら、ユーザー登録と起動ディスクのコピーを行ってください。

ユーザー登録を忘れずに

本パソコンが使用できる状態になったら、添付のユーザー登録カードに必要事項を記入し、投函してください。
ユーザー登録カードは、弊社やソフトウェア会社が自社製品のユーザーを把握し、さまざまな情報を提供する際に利用するものです。
ソフトウェアのバージョンアップ（ソフトウェアの機能を強化し、版数を上げること）時や電話相談などには、ユーザー登録をしていることが条件ですので、忘れずに投函してください。

リカバリ CD-ROM 起動ディスクのコピー

本パソコンに添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」には、リカバリ（→ P.48）に必要なファイルが含まれています。このディスクは、リカバリ時だけでなく、本パソコンが起動しなくなったときの起動ディスクとしても、使用できます。
次のものを用意してください。

- リカバリ CD-ROM 起動ディスク
- フロッピーディスクのラベル 1 枚（購入してください）
- 1.44MB フォーマット済 2HD フロッピーディスク 1 枚（購入してください）
- コネクタボックス（〔MF〕〔MC〕）
- オプションのフロッピーディスクドライブ（別売）
  （フロッピーディスクドライブおよびスーパーディスクドライブがない場合）

コピー方法

まず、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法でコピーし、原本を保管用として普段はコピー（複製）をお使いください。

POINT

- FDD ユニット（USB）をお使いの場合は、フロッピーディスクドライブが「A:」ドライブ以外に割り当てられることがあります。

1. 必要に応じてオプションをパソコン本体に取り付けます（→『ハードウェアガイド』、『オプションのマニュアル』参照）。
2. Windows2000 を起動します。
3. 添付されている「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。
4. 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
   「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。

5 「3.5 インチ FD（A:）」アイコンを右クリックし、「ディスクのコピー」をクリックします。
「ディスクのコピー」ダイアログボックスが表示されます。

6 コピー元とコピー先に「3.5 インチ FD（A:）」が選択されていることを確認し、「開始」をクリックします。
メッセージに従ってコピーを作成してください。

7 コピーが終了したら「閉じる」をクリックします。

重 要

- FDD ユニット（USB）をお使いの場合には、以降の各操作を行う前に、BIOS の設定を変更してください（→『ハードウェアガイド』参照）。
  - 「メイン」メニュー内
    フロッピーディスク A：使用しない
  - 「詳細」メニュー内
    その他の内蔵デバイス設定
    ・フロッピーディスクコントローラ：使用しない
    USB 設定
    ・USB フロッピーディスク：使用する

  なお、すべての作業を終えたら、必ず BIOS の設定を変更してください。
  - 「メイン」メニュー内
    フロッピーディスク A：144/1.2 MB 3.5’
  - 「詳細」メニュー内
    その他の内蔵デバイス設定
    ・フロッピーディスクコントローラ：使用する
    USB 設定
    ・USB フロッピーディスク：使用しない

■ 機種用設定

コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を次の方法で各機種用に設定してください。

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピーを書き込み可能な状態にしてセットし、本パソコンを再起動します。
「続けるにはどれかキーを押してください ...」と表示されます。

2 何かキーを押します。
ファイルがコピーされたあと、本パソコンが再起動します。
再起動すると、「Windows 2000 リカバリメニュー」が表示されます。

3 【3】キーを押します。
MS-DOS プロンプトが表示されます。

4 フロッピーディスクを取り出し、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」と記入したラベルを貼り、書き込み禁止の状態にします。
ラベルには「作業用」と記入し、お使いのパソコンの機種名を記入しておくことをお勧めします。

ポータブル CD-ROM ドライブ（FMV-NCD403）でリカバリするための設定（〔MC〕以外）

ポータブルCD-ROMドライブを使用してリカバリを行う場合は、「リカバリCD-ROM起動ディスク」の設定を変更する必要があります。
〔MC〕の「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は、「機種用設定」（→ P.18）が終了した時点でFMV-NCD403 を使用できる設定になっているため、以下の操作は必要ありません。

1 コピーした「リカバリCD-ROM起動ディスク」を書き込み可能の状態にします。

2 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットし、本パソコンを再起動します。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から本パソコンが起動し、ハードウェアの検索でエラーが表示され、「A:¥>」と表示されます。

3 次のように入力し、それぞれ【Enter】キーを押します。

```
del  ¥first
copy  ¥config.km2  ¥config.sys
```

「A:¥CONFIG.SYS を上書きしますか ?」と表示されます。

4 【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。

5 フロッピーディスクを取り出し、本パソコンの電源を切ります。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」が完成しました。

設定した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」は書き込み禁止の状態にしてお使いください。

その他のポータブル CD-ROM ドライブを使用する場合

〔MC〕以外は、以下の設定を行う前に、「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を作成する必要があります。
〔MC〕は、コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を使用して設定を行ってください。

1 作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み可能の状態にします。

2 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」から不要なファイルを削除します。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」に入っている次の FMV-NCD402/403 関連のファイルを削除します。

```
ATAKMGR.SYS
KMEKATCD.SYS
```

3 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」にファイルをコピーします。
ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているフロッピーディスクから、ドライバをコピーします。コピーするファイルについては、ポータブル CD-ROM ドライブに添付されているマニュアルなどをご覧ください。

4 Config.sys を修正します。
「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」の「A:¥Config.sys」の該当箇所（XXXXX）を使用するドライバ名に変更してください。

```
REM  [CD-ROM Driver]
DEVICE=XXXXX.SYS
DEVICE=XXXXX.SYS  /D:OEMCD001
```

作成した「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を書き込み禁止の状態にしてお使いください。

3 プレインストール仕様

Windows2000 セットアップが終了した時点での本パソコンの環境は、次のとおりです。

POINT

- 各ドライバおよびソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

ソフトウェア一覧

プレインストールソフト

名称	備考
Microsoft Windows 2000 Professional	「C:¥Winnt」フォルダにインストールされています。操作方法など詳細については、「スタート」メニューに登録されているヘルプか、添付されている『Microsoft® Windows® 2000 Professional クイックスタートガイド』をご覧ください。
Internet Explorer 5.0	WWW ブラウザです。
Microsoft IME 2000	日本語入力変換ユーティリティです。
DirectX7.0a	マルチメディアの機能を拡張します。DirectX7.0a に対応したソフトウェアの高速表示・高品位音声再生を実現します。
PMSet98	省電力を設定し、バッテリを効率的に運用・管理します。
Intel SpeedStep（FMV-6750NA7/B、FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-6600MF7/X）	電源の状態（AC アダプタまたはバッテリ）によって CPU のクロック周波数を変更し、消費電力を低下させます。
Windows 環境調査ツール（FM Advisor）	本パソコンの使用環境を調査します。また、動作環境取得ツールとしても使用できます。
Acrobat Reader	PDF（Portable Document Format）書類を表示、閲覧、印刷できます。
富士通 3 モードフロッピーディスクドライバ	1.44MB、1.23MB、1.2MB、720KB、640KB のフロッピーディスクを読み書きできる 3 モード対応のフロッピーディスクドライブ用のドライバです。
FMV 診断	ハードウェアの故障箇所を的確に診断します。

カスタムメイドオプションのアプリケーションについては添付の『アプリケーション補足説明書』や各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。
プレインストールソフトは、必要に応じてアンインストールしてください（→ P.25）。

添付ソフト（未インストール）

POINT

- 一部のソフトウェアの使用方法については、ヘルプまたは Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

インストール方法は、「添付ソフトのインストール」（→ P.57）をご覧ください。

名称	備考
GlidePoint（〔NU〕〔MF〕）	ポインティングデバイスの機能を拡張するユーティリティです。
ワンタッチボタン設定（〔MF〕〔MC〕）	ワンタッチボタンを押してアプリケーションを起動したり、メールをチェックしたりするアプリケーションです。
VirusScan	コンピュータウイルスを検出・駆除します（→ P.28）。
FM モバイルスイッチャー	LAN などのネットワーク環境で通信を行っているときに、通信設定を簡単に切り替えることができます。
FMKEEPER	パソコンのメモリ、ハードディスクや増設オプションなどの資産の情報を表示したり、パソコンを監視し発生した異常の詳細情報を参照できます。
10 円メールマスター	携帯電話を使用して、インターネットメールの送信／受信できます。
FM-Menu	ボタン式メニューから簡単にアプリケーションを起動できます。また、特定キーの入力や Windows 機能を制限します。
光磁気ディスク・ユーティリティ	光磁気ディスクのフォーマットやフォーマット／イジェクト権限の変更を行うユーティリティです。
はじめよう！インターネット（@nifty）	インターネットのプロバイダである @nifty に入会できます。
NIFTY MANAGER	パソコン通信ソフトです。使用方法については、NIFTY MANAGER のヘルプをご覧ください。

デバイス一覧

POINT

- 本パソコンの仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。その際、デバイス名称などが本書の記述と異なる場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

デバイス	名称	備考
CD-ROM ドライブ※1	〔NA〕 MATSHITA CD-ROM CR-176※2 〔NU〕〔MF〕 TEAC CD-224E	• 内蔵 CD-ROM ドライブユニット搭載時
IDE ATA/ATAPI コントローラ	〔NA〕〔NU〕 Intel(r) 82371AB/EB PCI Bus Master IDE Controller セカンダリ IDE チャネル プライマリ IDE チャネル 〔MF〕〔MC〕 Intel(r) 82440MX Bus Master IDE Controller プライマリ IDE チャネル	
PCMCIA アダプタ	〔NA〕 Texas Instruments PCI-1225 CardBus Controller Texas Instruments PCI-1225 CardBus Controller 〔NU〕〔MF〕 Texas Instruments PCI-1420 CardBus Controller Texas Instruments PCI-1420 CardBus Controller 〔MC〕 Texas Instruments PCI-1410 CardBus Controller	
USB（Universal Serial Bus）コントローラ	〔NA〕〔NU〕 Intel 82371AB/EB PCI to USB Universal Host Controller USB ルートハブ 〔MF〕〔MC〕 Intel(r) 82440MX USB Universal Host Controller USB ルートハブ	
キーボード	〔NA〕 日本語 PS/2 キーボード（106/109 キー Ctrl + 英数） 〔NU〕〔MF〕〔MC〕 日本語 PS/2 キーボード（106/109 キー）	
コンピュータ	ACPI (Advanced Configuration and Power Interface) PC	

デバイス	名称	備考
サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ	〔NA〕 ESS Maestro2E PCI AudioDrive(WDM) オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス 〔NU〕 Game port for Yamaha DS1 YAMAHA Legacy DS1 WDM Driver YAMAHA Native DS1 WDM Driver オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス ユニモデム半二重オーディオ デバイス※ レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス 〔MF〕〔MC〕 Intel(r) 82440MX AC'97 Audio Controller-SigmaTel Codec オーディオ CODEC ビデオ CODEC メディア コントロール デバイス ユニモデム半二重オーディオ デバイス※ レガシ オーディオ ドライバ レガシ ビデオ キャプチャ デバイス	※：モデムモデルとコンボモデルの場合のみ表示されます
ディスプレイアダプタ	〔NA〕〔NU〕 ATI RAGE MOBILITY-P AGP (Japanese) 〔MF〕〔MC〕 Trident Video Accelerator 9525DVD	解像度：1024 × 768 または 800 × 600 （機種によって異なります） 色数：High Color（16 ビット）
ネットワークアダプタ	Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)	LAN モデルとコンボモデルのみ表示されます。
フロッピーディスクコントローラ	Fujitsu 3-mode floppy controller (Type 00)	
フロッピーディスクドライブ	Fujitsu 3-mode floppy disk drive	1.44MB/1.23MB/1.2MB/720KB/640KB の各容量のフロッピーディスクを読み書きできます。

デバイス	名称	備考
ポート （COM と LPT）	プリンタポート（LPT1） 通信ポート（COM1）	
マウスとそのほかの ポインティング デバイス	〔MC〕タッチパネルモデル以外 PS/2 互換マウス 〔MC〕タッチパネルモデル Fujitsu Touch Panel(PS/2)	
モデム	モデムモデル Fujitsu LB RWModem V.90 56K J コンボモデル Fujitsu LB Global LTMODEM	
モニタ	〔NU〕 （既定のモニタ） Digital Flat Panel (1024 x 768) テレビ 〔NA〕〔MF〕〔MC〕 （既定のモニタ）	
赤外線デバイス	SMC IrCC-Fast Infrared Port	

※1：〔NA〕では DVD/CD-ROM ドライブと表示されます。
※2：モデルによっては、次のように表示されます。
・TOSHIBA CD-ROM XM-7002B
・TOSHIBA CD-ROM XM-7002Bc

ドライブ構成

ドライブ	容量	備考
C	約 4GB	FAT32
D	〔総容量〕－〔C ドライブの容量〕	NTFS
E	CD-ROM ドライブ	CD-ROM 接続時

POINT

- スーパーディスクドライブ（カスタムメイドまたはオプション）をお使いになる場合は、使用環境によって、スーパーディスクドライブに割り当てられるドライブが変わります。また、CD-ROM ドライブのドライブが変わることがあります。
- 各ファイルシステムにアクセスできる OS は、次の表のとおりです。

	Windows2000	WindowsNT 4.0		Windows98	Windows95 OSR2 以降
		Service Pack4 以降	Service Pack3 以前		
Windows2000 の NTFS	○	○	×	×	×
WindowsNT の NTFS	○	○	○	×	×
FAT32	○	×	×	○	○
FAT16	○	○	○	○	○

アプリケーションのアンインストール

留意事項

アプリケーションをアンインストールする場合は、次の点に気を付けてください。

- 起動中のアプリケーションをすべて終了してからアンインストールを始める
- DLL ファイルは削除しない

  DLL ファイルを削除すると、他のアプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルで、特に指示がない場合は DLL ファイルは削除しないことをお勧めします。

アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する

  アプリケーションにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「アプリケーションの追加と削除」機能を使用する

  「コントロールパネル」ウィンドウの「アプリケーションの追加と削除」機能を使用してアプリケーションを削除できます。

アンインストール方法はアプリケーションによって異なります。詳細は各アプリケーションのマニュアル、ヘルプ、または Readme.txt などの説明ファイルをご覧ください。

第 2 章

快適にお使いいただくために

コンピュータウイルスや画面の設定方法などについて説明しています。

1　コンピュータウイルス対策 28
2　画面を設定する 31
3　省電力 38
4　ワイヤレスリンク 46

1　コンピュータウイルス対策

コンピュータウイルスはプログラムの 1 つで、なんらかの方法でコンピュータ内に読み込まれる（感染する）と、コンピュータウイルス自身で増殖し、大切なデータを壊したり、コンピュータを起動できなくしたりといった悪影響を及ぼします。

VirusScan

本パソコンにはウイルスを発見するためのソフトとして、VirusScan が添付されています。入手したフロッピーディスクや光磁気ディスクなどは、ウイルスチェックを行ったうえで使用してください。VirusScan の使用方法については、ヘルプをご覧ください。
VirusScan はご購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールしてください（→ P.59）。

POINT

- 「VirusScan」を起動していると、アプリケーションを正常にインストールできなかったり、ご使用のアプリケーションによっては不具合が発生したりすることがあります。この場合は次のいずれかの方法で「VirusScan」を使用不可にしてください。
  - 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」→「VirusScan コンソール」の順にクリックします。「VirusScan コンソール」ウィンドウで「VShield」をクリックし、「タスク」メニュー→「使用不可」の順にクリックします。
  - 「VirusScan」アイコンがタスクバーに表示されている場合は、そのアイコンを右クリックし、「使用可能」→「システムスキャン」の順にクリックし、チェックを外します。
- VirusScan でコンピュータウイルス検査を行っているときは、ハードディスクにあるプログラムを実行したり、検査中のフロッピーディスクを取り出したりしないでください。
- 本パソコンをフロッピーディスクから起動する場合、そのフロッピーディスクがコンピュータウイルスに感染していないかをチェックしてから使用してください。
- VirusScan は、コンピュータウイルスの情報を記載したデータファイル（DAT ファイル）と、検査プログラム（スキャンエンジン）を使用しています。DAT ファイルは次のサイトから無料でダウンロードできます。定期的に更新してください。
  http://www.nai.com/japan/
  スキャンエンジンを更新する場合は、最新版の VirusScan をご購入ください。

コンピュータウイルスを発見した場合

コンピュータウイルスを発見した場合は、被害届けを提出してください。

重 要

- **コンピュータウイルスに感染してしまい、本パソコンの修理が必要になった場合、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。ご了承ください。**

コンピュータウイルスの被害届け

コンピュータウイルスの届け出制度は、通商産業省の「コンピュータウイルス対策基準」（平成 2 年 4 月 10 日付通商産業省告示第 139 号／平成 9 年 9 月 24 日改訂通商産業省告示第 535 号）の規定に基づき、平成 2 年 4 月にスタートした制度です。コンピュータウイルスを発見した場合、コンピュータウイルス被害の拡大と再発を防ぐために必要な情報を、情報処理振興事業協会（IPA）に届け出ることとされています。届け出の書式は次ページのとおりです。

〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
情報処理振興事業協会
セキュリティセンター
ウイルス対策室　宛
TEL　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518
E-mail　virus@ipa.go.jp

（届出書）
住所
会社・団体名
部署
氏名
TEL
FAX
E-mail

コンピュータウイルスの被害（感染・発病）について、下記のとおり届け出ます。

記

1. 発見場所（部署名または個人名）
2. ウイルス名称（内容）　（名称がわからない場合は症状を記載）
3. 発見年月日
　年　月　日
4. 感染機種
　機種　：富士通FMVシリーズ（IBM互換機）
　OS：　□ Windows95　□ Windows98　□ WindowsNT　□ Windows2000
　ネットワーク
　（チェックマークをつけてください。LAN接続以外は、スタンドアロンです）
　：□スタンドアロン（単体）　□LAN接続
5. 発見方法
　ワクチンなどによる定期検査を行っている　⇒頻度（毎日・毎週　回／　毎）
　発見方法（　）
　発見に利用したソフトウェア
　（□ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（□上記以外　⇒名称：　社名：　）
6. 推定される感染経路
　感染元
　□他人から譲渡（国内）　□電子メール（国内）
　□他人から譲渡（国外）　□電子メール（国外）
　□雑誌などの付録　□不明
　□パソコン通信（BBS）　□その他（　）
　□インターネット（ftp site, web site, NetNews）
　媒体
　□フロッピーディスク　□電子メール添付ファイル
　□CD-ROM　□その他（　）
　□ダウンロードファイル
7. 被害状況
　PC　台
　HD　台
　FD　枚
　その他
8. 回復処置
　回復方法（　）
　回復に利用したソフトウェア
　（□ VirusScan for Windows95/98/NT/2000（日本ネットワークアソシエイツ株式会社））
　（□上記以外　⇒名称：　社名：　）
　投入人日
　（　人・　日（0.5日単位で記述））

※ この届出はコンピュータウイルス対策基準（平成9年9月24日付通商産業省告示第535号）の規定に基づいています。届け出られた内容は被害の拡大及び再発の防止に活用しますが、記載されているプライバシーに関する情報を公表することはありません。

2 画面を設定する

ここでは、ディスプレイの解像度と色数を変更する方法と各機能について説明します。

解像度と色数

本パソコンでは、Windows2000 の「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで次の解像度、色数を選択／変更できます。
なお、High Color は 65,536 色、True Color は 16,777,216 色です。
また、CRT ディスプレイなどの外部ディスプレイの接続方法は『ハードウェアガイド』をご覧ください。

FMV-6750NA7/B

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ ＋ 外部ディスプレイ※2	外部ディスプレイ※2
640 × 480 800 × 600 1024 × 768	256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）
1280 × 1024 1600 × 1200	256 色※1 High Color（16 ビット）※1 True Color（24 ビット）※1 True Color（32 ビット）※1		

※1：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：家庭用テレビでも表示できます。家庭用テレビで表示するときに解像度を 1280 × 1024 以上に設定した場合は、仮想スクリーンモードになります。

FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-650NU7C/L

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ ＋ 外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※2
640 × 480 800 × 600 1024 × 768	256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）		
1280 × 1024	256 色※1 High Color（16 ビット）※1 True Color（24 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット）
1600 × 1200	256 色※1 High Color（16 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット）

※1：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

FMV-650NU7C/W

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ ＋ 外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※2
640 × 480 800 × 600	256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）		
1024 × 768	256 色※1 High Color（16 ビット）※1 True Color（24 ビット）※1 True Color（32 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット） True Color（32 ビット）
1280 × 1024	256 色※1 High Color（16 ビット）※1 True Color（24 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット） True Color（24 ビット）
1600 × 1200	256 色※1 High Color（16 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット）

※1：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

FMV-645MF7C/W、FMV-6600MF7/X、FMV-645MC7C/W

解像度（ドット）	色数		
	液晶ディスプレイ	液晶ディスプレイ＋外部ディスプレイ	外部ディスプレイ※3※4
640 × 480 800 × 600	256 色 High Color（16 ビット） True Color（32 ビット）		
1024 × 768	256 色※1 High Color（16 ビット）※1		256 色 High Color（16 ビット）
1280 × 1024	256 色※2※4		256 色

※1：FMV-645MF7C/W、FMV-645MC7C/W では仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。この時、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※2：仮想スクリーンモードになります。仮想スクリーンモードでは、液晶ディスプレイサイズの範囲のみが表示され、他の領域はマウスポインタを動かすことによって表示できます。このとき、「モニタ」を解像度以上のサイズに設定する必要があります。

※3：プラグアンドプレイ対応の外部ディスプレイを使用の場合、最大解像度は外部ディスプレイからの情報により設定されます。

※4：外部ディスプレイを接続して本パソコンを起動すると、自動的に外部ディスプレイ表示に切り換わることがあります。液晶ディスプレイ表示に戻すには、【Fn】+【F10】キーを押してください。

留意事項

- 以下の解像度を選択した場合は、【Fn】+【F5】キーで Windows2000 の画面を通常表示または全画面表示に変更できます。
  - 〔NA〕〔NU（FMV-650NU7C/W 以外）〕FMV-6600MF7/X：800 × 600 ドット以下
  - FMV-650NU7C/W、FMV-645MF7C/W〔MC〕：640 × 480 ドット
- True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。

■〔NA〕〔NU〕の場合

- DirectX を使用したアプリケーションの一部で、表示が乱れる場合があります。
- 外部ディスプレイとして CRT ディスプレイを接続した場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスでリフレッシュレートを 85Hz 以上に設定できるように見えますが、実際の CRT ディスプレイの周波数は以下のとおりです。
  - CRT ディスプレイのみの場合：
    1280 × 1024 ドット以下　60Hz ～ 85Hz
    1600 × 1200 ドット　60Hz
  - 同時表示の場合：60Hz
- Active Desktop を ON に設定し、色数を High Color（16 ビット）に設定した場合、ウィンドウの模様が正常に表示されないことがあります。この場合は、色数を High Color（16 ビット）以外に設定するか、Active Desktop を OFF に設定してください。
- 〔NA〕〔NU〕でタスクバーを上下左右に移動させると、壁紙を正常に表示できなくなることがあります。

■〔MF〕〔MC〕固有の留意事項

- 色数を True Color（32 ビット）に設定した場合、以下の操作による液晶ディスプレイの全画面表示は使用できません。
  - 【Fn】+【F5】キーを押す
  - 「（マルチモニタ）と Trident Video Accelerator 9525DVD…のプロパティ」の「フラットパネル」タブにある「ディスプレイストレッチ」をチェックする
    なお、「（マルチモニタ）と Trident Video Accelerator 9525DVD…のプロパティ」は、「画面のプロパティ」の「設定」タブにある「詳細」ボタンをクリックすると表示されます。
- True Color 表示ではディザリング機能を使用して液晶ディスプレイに表示しています。
- 〔MC〕タッチパネルモデルでは、画面の解像度を 640 × 480 ドットにするとタッチパネルの応答が悪くなることがあります。その場合は、色数を True Color（32 ビット）に設定してください。

表示装置を切り換える

表示装置を切り換えるには、【Fn】キーを押しながら【F10】キーを押します。表示装置は次の順に切り換わります（このとき【F10】キーを、間隔を空けて押してください）。

液晶ディスプレイ → 外部ディスプレイ → 液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ（同時表示）→ 液晶ディスプレイ…

なお、表示装置をあらかじめ取り付けてから、切り換えを行ってください（→『ハードウェアガイド』参照）。

留意事項

- 表示装置の切り換えの設定は次のようになります。
  - Windows2000 が起動していない場合は、BIOS セットアップの設定が有効
  - Windows2000 が起動すると、表示されるディスプレイは、前回 Windows2000 で使用していた状態になります。ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合は、液晶ディスプレイに表示されます。
- 〔NA〕〔NU〕では液晶ディスプレイよりも大きな解像度に設定して外部ディスプレイに表示させている場合、【Fn】+【F10】キーによる表示装置の切り換えはできません。液晶ディスプレイよりも小さな解像度に設定してから【Fn】+【F10】キーで切り換えてください。
- 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示を選択した場合、外部ディスプレイ画面は液晶ディスプレイ画面と同一の解像度になります。
- 解像度の切り換え時などに、一時的に表示画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示を選択した場合、液晶ディスプレイの表示が乱れることがあります。このときは、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで、色数を変更してください。
- 外部ディスプレイあるいは液晶プロジェクタによっては、液晶ディスプレイ+外部ディスプレイの同時表示時に、画面が正しく表示されないことがあります。

- 外部ディスプレイで液晶ディスプレイ以上の高解像度を利用するには、それらの解像度を表示可能な外部ディスプレイが必要です。
- 液晶プロジェクタを本パソコンの液晶ディスプレイと同時表示で使用する場合、本パソコンの液晶ディスプレイと同じ解像度を表示可能な液晶プロジェクタが必要です。
- 〔NA〕〔NU〕で【Fn】+【F10】キーを押して表示装置を切り換えたあとに色数や解像度を変更すると、Windows2000 起動時の表示装置に自動的に切り替わります。再度、【Fn】+【F10】キーを押して表示装置を切り換えてください。
- 〔NA〕で、DVD やビデオ CD などの動画再生画面を家庭用テレビなどに表示する場合は、家庭用テレビのみに表示する設定にしてください。設定は、Windows98 の「画面のプロパティ」ダイアログボックスで行います（→ P.35）。

【Fn】+【F10】キーを使用する場合

表示装置を切り換えるには、【Fn】キーを押しながら【F10】キーを押します。表示装置は次の順に切り換わります（このとき【F10】キーを、間隔を空けて押してください）。

液晶ディスプレイ → 外部ディスプレイ → 液晶ディスプレイ + 外部ディスプレイ（同時表示）→ 液晶ディスプレイ…

POINT

- 〔NA〕で家庭用テレビに切り換える場合は、「画面のプロパティ」ダイアログボックスで操作してください。

「画面のプロパティ」ダイアログボックスを使用する場合

1 「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「設定」タブで「詳細」をクリックします。

2 次の画面で表示装置を選択します。

〔NA〕〔NU〕「ATI 画面」タブ
〔MF〕〔MC〕「表示デバイス」タブ

POINT

▶ 〔NA〕〔NU〕で表示装置の切り換えを行う場合は、次の手順に従って操作してください。

- 液晶ディスプレイと外部ディスプレイと家庭用テレビ（〔NA〕）で同時に表示する
  1 緑色の「 」をクリックして、「モニタ」と「パネル」と「テレビ」（〔NA〕）の「 」を押された状態にします。
  2「モニタ」と「パネル」をプライマリ「 」に、「テレビ」（〔NA〕）をセカンダリ「 」に設定します。
- 〔NA〕で液晶ディスプレイ、外部ディスプレイおよび家庭用テレビのうち、いずれか２台を同時に表示する
  1 緑色の「 」をクリックして表示するディスプレイの「 」を押された状態にし、表示しないディスプレイの「 」を押されてない状態にします。
  2「モニタ」と「パネル」をプライマリ「 」に、「テレビ」をセカンダリ「 」に設定します。
- 液晶ディスプレイのみ、外部ディスプレイのみ、または家庭用テレビのみ（〔NA〕）で表示する
  1 緑色の「 」をクリックして、「モニタ」と「パネル」と「テレビ」（〔NA〕）の「 」を押された状態にしてから、表示しないディスプレイの「 」をクリックします。
  2 表示するディスプレイがセカンダリになっている場合は「 」をクリックし、チェックを外します。

3 「OK」をクリックします。

ローテーション機能を使う（〔MC〕タッチパネルモデル）

「ローテーション機能」を使うとデスクトップの画面を縦横に変更できます。

留意事項

- 【Ctrl】キーと【Alt】キーを押しながら【R】キーを押すと、現在の状態から 90 度回転します。
- ローテーション機能使用中は、画面の解像度や色数を変更しないでください。解像度と色数を変更する場合は、画面を元の状態（角度）に戻してから変更してください。
- ローテーション機能使用中に、壁紙の表示位置がずれることがあります。この場合は、壁紙の上で右クリックし、表示されるメニューから、「最新の情報に更新」をクリックしてください。正しい表示に戻ります。
- ローテーション機能使用中は、アプリケーションによっては正常に動作しなかったり、表示速度が遅くなる場合があります。
- Windows2000 の起動中、終了中はローテーション機能が無効になります。
- ローテーション機能をお使いの場合、マウスの動きは以下のようになります。
  - PS/2 マウスは、パソコン本体前面から見ている場合にお使いになれます。
  - USB マウスは、お使いになる方向から画面を見て、マウスポインタが の向きになっている場合に、お使いになれます。

画面の角度を変更する

重 要

- ローテーション機能を使う前に使用中のアプリケーションを終了してください。
- アクティブデスクトップに設定されたままローテーション機能を使うと、正常に変更できない場合があります。変更前に、次の手順に従ってアクティブデスクトップの設定を解除してください。
  1「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」→「フォルダオプション」の順にクリックします。
  2「全般」タブで、「従来の Windows デスクトップを使う」をクリックします。

1 デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ダイアログが表示されます。

2「設定」タブをクリックします。

3「詳細」をクリックします。

4「ローテーション」タブをクリックし、「左回り」「右回り」をクリックして画面の角度を変更します。
「右回り」をクリックすると右方向へ、「左回り」「右回り」をクリックして画面の角度を変更します。

5「OK」をクリックします。

6「画面のプロパティ」ダイアログボックスの「OK」をクリックします。

3 省電力

本パソコンの省電力について説明します。

省電力設定は、ユーザー別に設定できます。このため、Administrators グループのメンバーとしてログオンした場合と他のユーザでログオンした場合で設定が異なります。必要に応じて「電源オプション」で設定してください。

スタンバイ／レジューム機能

スタンバイ／レジューム機能とは

スタンバイ／レジューム機能とは、SUS/RES スイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）などで本パソコンを一時停止（スタンバイ）したときに、メモリ内のプログラムやデータをそのままの状態で保持し、次に SUS/RES スイッチを押したときに、すぐに作業を再開（レジューム）できる機能です。
スタンバイ／レジューム機能のスタンバイには、次の 2 種類があります。

- **スタンバイモード**
  メモリ内のプログラムやデータは、システム RAM で保持されます。スタンバイ動作中は、状態表示 LCD の ⏻ が点滅します。
  電源は、AC アダプタを接続している場合は AC 電源から、AC アダプタを接続していない場合はバッテリから供給されます。「休止状態」と比較すると、一時停止／再開にかかる時間が短くなります。
- **休止状態**
  メモリ内のプログラムやデータは、ハードディスクに書き込まれて保存されます。保存が完了すると、パソコン本体の電源が自動的に切れます。電源が自動的に切れるため、「スタンバイ」と比較すると、一時停止／再開にかかる時間が長くなります。

ご購入時は、「スタンバイ」に設定されています。
「休止状態」を使用するには、事前に設定が必要です。詳しくは、「電源オプションのプロパティの「休止状態」タブ（→ P.43）をご覧ください。

重 要

- 休止状態では、「電話が鳴ったときにレジュームする」機能はサポートしません。

POINT

- 本書および本パソコン添付のマニュアルで「スタンバイモード」を「スタンバイ状態」、「休止状態」を「Save To Disk 状態」と表記している場合があります。

留意事項

- 次の場合は、スタンバイ／レジューム機能を使用しないでください。
  - Windows2000 の終了処理中
  - パソコンが何か処理をしている最中（プリンタ出力中など）、および処理完了直後
  - ハードディスク、フロッピーディスクまたはスーパーディスクにアクセス中
  - モデムで通信中
  - 内蔵 LAN 以外の LAN カードなどで LAN でネットワークに接続中
  - オートラン CD-ROM（セットすると自動で始まる CD-ROM）を使用中
  - ビデオ CD、MPEG1、MPEG2、および DVD を再生中
  - 音楽 CD やゲームソフトなどのサウンドを再生中
  - CD-R や CD-RW に書き込みまたは書き換え中
- スタンバイ／レジューム機能を使用する場合、以下の点に気をつけてください。
  - スタンバイまたは休止状態にしたあと、すぐにレジュームしないでください。必ず、10 秒以上たってからレジュームするようにしてください。
  - レジュームする場合は、SUS/RES スイッチを 4 秒以上押さないでください。SUS/RES スイッチを 4 秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作業中のデータが消失します。
  - スタンバイ中に MAIN スイッチを OFF にしないでください。作業中のデータがすべて失われてしまいます。
  - スタンバイ時にはシステム RAM でのデータ保持のために電力を消費します。バッテリ運用の場合は、バッテリ残量に留意してください。スタンバイ中にバッテリが切れると、作業中のデータがすべて失われてしまいます。
  - ネットワーク環境によっては、スタンバイ／レジューム機能を使用できない場合があります。
  - レジューム時に、画面に一瞬ノイズが発生する場合があります。
  - スタンバイした場合、内蔵モデムに着信すると常にレジュームします。レジュームさせたくないときは、モジュラーケーブルをモジュラーコネクタから抜いておいてください。
  - モデム着信によるレジューム後、フラットポイント（マウス）を操作しても画面が表示されないことがあります。表示されない場合は、【Space】キーなどのキーを押してください。
  - 「休止状態」に設定した場合、モデム着信によるレジューム機能は働きません。

POINT

- Windows2000 の終了処理中に液晶ディスプレイを閉じてスタンバイさせないでください。Windows2000 の終了処理後は、必ず液晶ディスプレイに何も表示されていないことを確認してから、液晶ディスプレイを閉じてください。
- オートラン CD-ROM を使用しているときにスタンバイすると、レジューム時に CD-ROM が二重に起動し、誤動作の原因になります。二重に起動した場合は、CD-ROM のアプリケーションをすべて終了し、CD-ROM をセットし直してください。
- ドライバのインストールが必要な周辺機器を接続しているときは、ドライバのインストールが終了するまでスタンバイ／レジューム機能を使用しないでください。

- 次の場合は、スタンバイ機能を使用せず、パソコン本体の電源を切ってください。
  - 長時間お使いにならないとき
    バッテリでのスタンバイ状態（→『ハードウェアガイド』参照）の有効期間（最大約 3 日）を超えて使用しない場合は、データを保存してから Windows2000 を終了させ、パソコン本体の電源を切ってください。休止状態に移行すると、MAIN スイッチが ON のままで電源が切れます。この場合は、MAIN スイッチを OFF にしてもかまいません。次回 MAIN スイッチを ON にすると再開します。
  - 周辺機器を取り付け／取り外しをするとき
    周辺機器によっては、パソコン本体の電源を切らなくても接続できるものがあります。『ハードウェアガイド』、または周辺機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- 次の場合は、スタンバイ／レジューム機能が使用できないことがあります。
  - Windows2000 の起動処理中
  - アプリケーションの処理中
  - PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続している場合
  - 赤外線通信を使用中

POINT

- **PC カードやプリンタなどの周辺装置を接続した状態で休止状態にすると、レジューム時に周辺装置の情報が初期化されるため、休止状態前の状態に戻らないことがあります。**

- 別売の LAN カード（弊社の FMV-J182A、FMV-J184B、FMV-J185 など）をお使いになる場合は、AC アダプタを接続し、「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスで「電源設定」タブの各項目を「なし」に設定してください。
- お使いになる PC カードによっては、スタンバイ時のデータ保存時間が短くなる場合があります。

スタンバイモードと休止状態への移行方法

本パソコンをスタンバイまたは休止状態へ移行させるには、以下の 3 つの方法があります。

POINT

- **以下の場合は、本パソコンはスタンバイしないことがあります。**
  - **Windows2000 の起動中**
  - **接続している周辺機器のドライバが正しくインストールされていないとき**
- **本パソコンの使用条件により、スタンバイに時間がかかる場合があります。**
- **〔NA〕の場合、ご購入時は SUS/RES スイッチを押すと電源が切れる設定になっています。設定を変更するには、「「電源オプションのプロパティ」での設定」（→ P.42）をご覧ください。**

■ SUS/RES スイッチを押す

状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）の🛢や💾などが消えていることを確認し、SUS/RES スイッチを押します。

状態表示 LCD の⏻が点滅し、本パソコンはスタンバイ状態になります（休止状態の場合は消灯します）。

重 要

- SUS/RESスイッチは4秒以上押さないでください。SUS/RESスイッチを4秒以上押すと、本パソコンの電源が切れ、作成中のデータが失われることがあります。

POINT

- 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「休止状態」タブで「休止状態をサポートする」を設定していない場合は、「休止状態をサポートする」をチェックしてください。

■ 液晶ディスプレイを閉じる

状態表示 LCD（→『ハードウェアガイド』参照）のやなどが消えていることを確認し、液晶ディスプレイを閉じます。

カバークローズスイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）により、本パソコンはスタンバイ状態になります。

POINT

- 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「詳細」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定を「スタンバイ」以外にした場合は、液晶ディスプレイを閉じても本パソコンはスタンバイしません。
  また、この場合は液晶ディスプレイを閉じないでください。

■「Windows の終了」ダイアログボックスから移行させる

1. 「スタート」ボタン→「シャットダウン」の順にクリックします。
2. 「Windows の終了」ダイアログボックスで「スタンバイ」を選択し、「OK」をクリックします。

POINT

- SUS/RESスイッチを押したとき、または液晶ディスプレイを閉じたときの動作は、スタンバイにするか休止状態にするかを「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスで設定することができます。
  ご購入時は、スタンバイに設定されています。

レジューム方法

本パソコンをレジュームさせるには、次の 2 つの方法があります。

POINT

- 本パソコンをスタンバイし、再度レジュームさせる場合は、10 秒ほど待ってから操作してください。
- 本パソコンの使用条件により、レジュームに時間がかかる場合があります。
- レジュームしないときは、MAIN スイッチが OFF になっていないか確認してください。
- 本パソコンをスタンバイモードから復帰させたときに、パスワードを求めるメッセージが表示されることがあります。詳しくは、「電源オプションのプロパティ」の「詳細」タブの説明をご覧ください（→ P.43）。

■ **SUS/RES スイッチを押す**
SUS/RES スイッチを押すと、状態表示 LCD の ㉔ が常時表示になり、本パソコンは動作状態になります。

POINT

- SUS/RES スイッチは４秒以上押さないでください。4 秒以上押すと、本パソコンの電源が切れます。

■ **液晶ディスプレイを開く（カバークローズスイッチを使用してスタンバイしたとき）**
カバークローズスイッチ（→『ハードウェアガイド』参照）により、本パソコンがレジュームします。

POINT

- SUS/RES スイッチまたは「Windows の終了」ダイアログボックスでスタンバイした場合は、液晶ディスプレイを開いてもレジュームしません。
- 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「詳細」タブで「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定を「スタンバイ」以外にした場合は、本パソコンはレジュームしません。

ご購入時の節電の設定

本パソコンご購入時には、バッテリで使うときに節電されるように設定されています。
節電の設定は、通常お使いになるうえでは、変更する必要はありません。変更する場合は、Windows2000 の「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」を使います。

重 要

- Windows2000 動作中は、BIOS セットアップでの省電力設定ではなく、「電源オプションのプロパティ」での省電力設定が有効になります。

「電源オプションのプロパティ」での設定

Windows2000 では「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」により、本パソコンを使用中にスタンバイまたは休止状態にしてバッテリ消費を低減させるように設定したり、LOW バッテリ状態でアラームを鳴らすように設定するなど、本パソコンの電源を管理することができます。

設定を変更する

■ **「電源設定」タブ**
本パソコンの電源を入れた状態で一定時間使用しなかった場合に、節電機能が働くまでの時間を設定します。「ポータブル／ラップトップの電源の設定」の「システムスタンバイ」でスタンバイするまでの時間を選択してください。
この場合は、スタンバイしたときのメモリ内のデータなどの保存先は、システム RAM になります。

■「アラーム」タブ

バッテリの残量が少なくなったときに Windows2000 が出す警告についての設定をします。

「アラーム」タブの「バッテリ切れアラーム」の次の各項目のチェックを外さないでください。

- 「電源レベルが次に達したらバッテリ切れアラームで知らせる」
- 「アラームの動作」をクリックして表示される「バッテリ切れのアラームの動作」ダイアログボックスの「電源レベル」の「アラーム後のコンピュータの動作」
- 「アラームの動作」をクリックして表示される「バッテリ切れのアラームの動作」ダイアログボックスの「電源レベル」の「プログラムが応答しない場合でも、スタンバイまたはシャットダウンする」

これらのチェックを外した状態で使用すると、バッテリが空になった時点で電源が切断されるため、作成中のデータが保存されないばかりか、パソコン本体が故障する原因となります。

■「電源メーター」タブ

本パソコンのバッテリの状態が表示されます。

「各バッテリの状態を表示する」をチェックすると、バッテリの状態が表示されます。「電源の状態」の各バッテリをクリックすると、各バッテリのさらに詳しい情報が表示されます。

■「詳細」タブ

SUS/RES スイッチを押したときや液晶ディスプレイを閉じたときに、パソコン本体の動作状態を設定します。ご購入時は、スタンバイするように設定されています。

重 要

- 〔MF〕〔MC〕で「ポータブルコンピュータを閉じたとき」の設定で移行したい状態に「なし」を選択した場合、本パソコンの動作中に液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、本パソコンが故障する原因となります。

POINT

- SUS/RES スイッチを押したときの状態は、「コンピュータの電源ボタンを押したとき」で設定できます。
- 液晶ディスプレイを閉じたときの状態は、「ポータブルコンピュータを閉じたとき」で設定できます。
- スタンバイモードから復帰するときにパスワードの入力を求めるメッセージを表示させることができます。
  1 「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスの「詳細」タブをクリックします。
  2 「スタンバイ状態から回復したときにパスワードの入力を求める」をチェックする。

■「休止状態」タブ

本パソコンをスタンバイするときに、メモリ内のデータなどの保存先をハードディスクに変更するには、次の設定を行う必要があります。

- 「休止状態」タブの「休止状態をサポートする」をチェックする
- 「詳細」タブの「電源ボタン」の各項目を「休止状態」に設定する

POINT

- 休止状態に移行すると、MAIN スイッチが ON のままで電源が切れます。この場合は、MAIN スイッチを OFF にしてもかまいません。次回 MAIN スイッチを ON にすると再開します。

■「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」タブ（FMV-6750NA7/B、FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-6600MF7/X）

本パソコンをバッテリで使っているときに、CPU クロックの周波数を落とすとともに CPU 動作電圧を落とすことで節電するかどうかを設定します。本パソコンを AC アダプタで使っているときと、バッテリで使っているときで別々に設定できます。「バッテリに合わせたパフォーマンス」に設定した場合、消費電力が低くなるので、バッテリ稼動時間が長くなります。

POINT

- タスクバーの をダブルクリックしても設定画面が表示されます。
- 「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」ダイアログボックスと「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスは、同時に表示しないでください。
- Direct3D を使用するアプリケーションを起動中は以下の操作を行わないでください。
  - AC アダプタを抜き差しする
  - 「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」ダイアログボックスまたはタブの設定を変更する
- BIOS セットアップの「Intel(R) SpeedStep(TM) テクノロジ」（→『ハードウェアガイド』参照）の項目でも設定を変更できます。Intel SpeedStep の設定を変更すると、BIOS セットアップの設定も変更されます。

PMSet98 での設定

PMSet98 は、現在の設定内容が表示される「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックスと、バッテリ残量が表示される「インジケータ」を持っています。

「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックス

「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックスは、タスクバーの または をダブルクリックして表示させます。

「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックスでは、AC アダプタ接続時とバッテリ運用時のそれぞれについて省電力の設定を行うことができます。設定の詳細については、PMSet98 のヘルプをご覧ください。

POINT

- タスクバーに または が表示されていない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「PMSet98」→「1. PMSet98」の順にクリックし、PMSet98 を起動してください。
- PMSet98 を終了するには、タスクバーの または を右クリックし、「終了」をクリックしてください。

インジケータ

インジケータは「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックスの「インジケータ」タブで「インジケータを表示する」をチェックして表示させます。
インジケータの詳細については、PMSet98 のヘルプをご覧ください。

POINT

- 「PMSet98 のプロパティ」ダイアログボックスの「インジケータ」タブで表示位置を「自由位置」に設定すると、ドラッグして好きな位置に移動できます。

液晶ディスプレイの明るさを変更する

■ PMSet98 で設定する（〔NA〕以外）

Administrators グループのメンバーとしてログオンすると、PMSet98 の「電源依存」タブの「LCD バックライト」で液晶ディスプレイの明るさを設定できます。AC アダプタで使用しているときと、バッテリで使用しているときの明るさをそれぞれ設定できます。

■ 設定した明るさを変更する

本パソコンを使用中に【Fn】キーを押しながら【F6】または【F7】キーを押すと、上記の設定に関係なく、明るさを調節できます。

POINT

- ご購入時には AC アダプタ運用時に画面が明るく、バッテリ運用時は画面が暗くなるように設定されています。ご使用の環境に合わせて PMSet98 で明るさを変更してください。

４ ワイヤレスリンク

ワイヤレスリンクとは、本パソコンの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）を使用して、赤外線通信機能（IrDA インターフェース）を持った他のパソコンと、ケーブルを接続することなくデータを転送できる機能です。

ワイヤレスリンクを行う場合は、互いのパソコンの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）を使用可能に設定し、赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が真正面に向き合うようにします。距離は 20 ～ 50cm の範囲内での使用をお勧めします。

留意事項

- ワイヤレスリンクを使用しているときは、赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）に AC アダプタや外部ディスプレイを近づけないでください。誤動作の原因になります。
- 互いのパソコンの距離を離しすぎないでください。
- データ転送中は、互いのパソコンを動かさないでください。データ転送が切断される場合があります。
- 以下の場合、正常にデータを転送できないことがあります。
  - ワイヤレスマウス添付モデル〔NU〕で、添付のワイヤレスマウスを赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）に向けて操作した場合
  - 互いの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が、真正面に向き合っていない場合
  - 互いの赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）の距離が離れすぎていたり、間に遮断物がある場合
  - テレビ、ラジオなどのリモコンや、ワイヤレス・ヘッドホンなどが近くで動作している場合
  - 直射日光や、蛍光灯・白熱灯などの強い光が赤外線通信ポート（IrDA　インターフェース）に当たっている場合
  - 赤外線通信ポート（IrDA インターフェース）が汚れている場合

第3章

リカバリとインストール

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」とソフトウェアの「インストール」について説明しています。

1　リカバリ 48
2　ソフトウェアのインストール 54

1　リカバリ

Windows が起動されないなどの問題が発生した場合、またはハードディスクの領域を変更したい場合は、リカバリを行います。

リカバリの概要

リカバリとは、「リカバリ CD-ROM」と「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」を使用して、OS、ドライバなどのプレインストールソフトウェアをご購入時の状態（「プレインストール仕様」(→ P.20)）に戻す操作です。

留意事項

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。必要に応じて事前にバックアップを行ってください。
- リカバリを行うと、C ドライブは FAT32 に設定されます。C ドライブを NTFS に変換していた場合は、リカバリ後再度 NTFS に変換してください（→ P.69）。
- オプションを取り付けている場合は、それらをいったん取り外し、ご購入時の状態に戻してください。
- リカバリが終了するまで、LAN ケーブルを接続しないでください。LAN ケーブルを接続してセットアップを行うと、エラーメッセージが表示されることがあります。
- カスタムメイドオプションのアプリケーションはリカバリされません。
- 本書では内蔵ポインティングデバイスでの操作を前提に記述してあります。

重 要

▶ FDD ユニット（USB）をお使いの場合には、以降の各操作を行う前に、BIOS の設定を変更してください（→『ハードウェアガイド』参照）。

・「メイン」メニュー内
　フロッピーディスク A：使用しない
・「詳細」メニュー内
　その他の内蔵デバイス設定
　・フロッピーディスクコントローラ：使用しない
　USB 設定
　・USB フロッピーディスク：使用する

なお、すべての作業を終えたら、必ず BIOS の設定を変更してください。

・「メイン」メニュー内
　フロッピーディスク A：144/1.2 MB 3.5’
・「詳細」メニュー内
　その他の内蔵デバイス設定
　・フロッピーディスクコントローラ：使用する
　USB 設定
　・USB フロッピーディスク：使用しない

リカバリの手順

リカバリは次の手順で行います。

1. 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」のコピー（→ P.17）
2. ハードディスクの領域設定（必要に応じて）（→ P.49）
3. リカバリ方法（→ P.51）
4. モデムドライバのインストール（コンボモデル）（→ P.54）
5. ディスプレイドライバとタッチパネルドライバのインストール（〔MC〕タッチパネルモデル）（→ P.54）

リカバリ終了後

リカバリ後、必要に応じてソフトウェアをアンインストールしてください（→ P.25）。
また、必要に応じて添付アプリケーションやカスタムメイドのアプリケーションをインストールしてください（→ P.57）。

ハードディスクの領域を設定する

C ドライブをご購入時の状態と異なる容量に変更したい場合、領域を設定します。
領域の設定には、FDISK コマンドを使用します。
手順の流れを確認後、FDISK を起動してください。

■ 手順の流れ

1. FDISK で領域を削除する
   非 MS-DOS 領域（ご購入時の D ドライブ）と基本 MS-DOS 領域（ご購入時の C ドライブ）を削除します。
2. FDISK で領域を作成する
   希望する容量の基本 MS-DOS 領域を作成します。D ドライブ以降は、Windows2000 の「コンピュータの管理」ダイアログボックスの「ディスクの管理」で作成できます。

■ FDISK の起動方法と概要

FDISK は、次の手順で起動してください。

次のものを用意してください。

- 「リカバリ CD-ROM」
- コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（→ P.17）

1 「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」をセットします。

2 本パソコンを再起動します。

「Windows2000 リカバリメニュー」が表示されます。

3 【2】キーを押します。

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか ...？」と表示されます。

「FDISK オプション」が表示されます。

4 次の説明と画面のメッセージを参照し、領域を設定します。

- **MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成**

  基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内に論理 MS-DOS ドライブを作成する場合に選択します。

POINT

- 基本 MS-DOS 領域は、リカバリに必要な領域（最低 2GB）に設定してください（ご購入時には約 4GB に設定されています）。
- 〔MF〕では、領域を１つしか作成しなかった場合、Windows 上では CD-ROM ドライブ文字が C ドライブから連続しない場合があります。

- **アクティブな領域を設定**

  基本 MS-DOS 領域をアクティブ（領域に OS をインストールしたら起動できる状態）にする場合に選択します。なお、基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てた場合は、自動的にアクティブに設定されます。アクティブな領域は、「状態」に「A」と表示されます。

重 要

- 基本 MS-DOS 領域（領域 C）をアクティブに設定しないと、ハードディスクから起動できません。基本 MS-DOS 領域は、必ずアクティブに設定してください。

- **領域または論理 MS-DOS ドライブを削除**

  すでに設定されている基本 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域、拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブ、非 MS-DOS 領域（NTFS）を削除する場合に選択します。

- **領域情報を表示**

  現在の設定を確認する場合に選択します。

  FDISK を起動すると、プライマリマスターのハードディスクを設定できる状態になります。これを増設したハードディスクに切り換える場合に選択します。

リカバリ方法

本パソコンをご購入時の状態に戻す「リカバリ」の手順を説明します。
次のものを用意してください。

- コピーした「リカバリ CD-ROM 起動ディスク」（→ P.17）
- 「リカバリ CD-ROM」

POINT

- リカバリを行うと、C ドライブのファイルはすべて削除されます。ご注意ください。
- リカバリを行う場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

1 BIOS の設定をご購入時の設定に戻します。

ご購入時の設定に戻すには、BIOS セットアップ（→『ハードウェアガイド』参照）の設定を初期値に戻し、次の設定を行ってください。

- 「メイン」メニュー内（〔NA〕以外）
  フロッピーディスク A
  （フロッピーディスクを使用する場合）：1.44/1.2MB 3.5"
  （〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）：使用しない
  （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない
- 「詳細」メニュー内
  プラグアンドプレイ対応 OS：いいえ
  キーボード／マウス設定
  - ホットプラグ：使用しない
    （〔NU〕の内蔵ポインティングデバイス非搭載モデル）
  - 内蔵ポインティングデバイス：常に使用する
    （〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）
  - ワイヤレスマウス：使用する
    （〔NU〕のワイヤレスマウス添付モデル）

  その他の内蔵デバイス設定
  - フロッピーディスクコントローラ
    （フロッピーディスクを使用する場合）：使用する
    （〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）：使用しない
    （スーパーディスクドライブを使用する場合）：使用しない

  USB 設定
  - USB フロッピーディスク：使用する
    （〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）を使用する場合）
- 「省電力」メニュー内
  省電力モード：使用しない

BIOS セットアップの設定をご購入時と異なる設定に変更していると、インストール時にエラーメッセージが表示されることがあります。

2 「リカバリCD-ROM起動ディスク」を、書き込み可能な状態にしてセットします。

3 本パソコンを再起動します。

「Windows2000 リカバリメニュー」が表示されます。

4 【1】キーを押します。

「警告！ハードディスクはすべて初期化されます。」と表示されます。

5 メッセージをよく読み、何かキーを押します。

本パソコンが再起動し、C ドライブがフォーマットされます。フォーマット終了後、「CD-ROM ドライブに「リカバリ CD-ROM 1 枚目」をセットし、しばらくしたら「Y」キーを押してください.」と表示されます。

6 「リカバリ CD-ROM」をセットし、しばらくしたら【Y】キーを押します。

重 要

▶ 〔MF〕〔MC〕で FDD ユニット（USB）をお使いの場合

1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

2 「FUJITSU」ロゴの下に文字が表示されたら、すぐに【F2】キーを押し続けます。
BIOS セットアップ画面が表示されます。

BIOS セットアップメニューに入れなかった場合は、再度【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動し、「FUJITSU」ロゴが表示されたら、【F2】キーを押し続けます。

3 BIOS セットアップ画面に入ったら、次のように設定します（→『ハードウェアガイド』参照）。
- 「メイン」メニュー内
  フロッピーディスク A：1.44/1.2MB 3.5"
- 「詳細」メニュー内
  その他の内蔵デバイス設定
  　フロッピーディスクコントローラ
  USB 設定
  　USB フロッピーディスク：使用しない

4 PC カードと USB フロッピーを取り外します。

5 【F10】キーを押します。
本パソコンが再起動します。

6 手順 8 に進みます。

あとは、メッセージに従って操作します。
リカバリが終了すると「マスタイメージのリストアが正常に終了しました。」と表示されます。

7 次の操作を行います。

- **内蔵 CD-ROM ドライブをお使いの場合**
  フロッピーディスクと CD-ROM を取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。
- **内蔵 CD-ROM ドライブ以外をお使いの場合**
  PC カードとフロッピーディスクを取り出してから、【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押して本パソコンを再起動します。

8 以降、第 1 章を参照して操作してください（→ P.10）。

POINT

▶ Windows セットアップ後は、お使いのモデルに応じて次のドライバをインストールしてください（→ P.54）。

• コンボモデル	モデムドライバ
• 〔MC〕タッチパネルモデル	ディスプレイドライバ タッチパネルドライバ

2 ソフトウェアのインストール

一部のドライバおよびアプリケーションのインストール方法を説明します。

重 要

- 添付の「ドライバーズ CD」には、機種によっては使用できないソフトウェアも含まれています。本書を参照し、正しいソフトウェアを使用してください。誤ったソフトウェアをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。
  なお、「ドライバーズ CD」の Indexcd.htm もご覧ください。

ドライバのインストール

重 要

- すでにインストールされているドライバについては、特に問題がない限りインストールしないでください。

ドライバのインストールは、それぞれのドライバのインストール手順をご覧ください。
インストール手順は「ドライバーズ CD」内の次の表の場所にあります。

ドライバ	機種	Readme.txt の保存場所
ディスプレイドライバ	〔NA〕〔NU〕	¥W2k¥Atidsp¥Readme.txt
	〔MF〕〔MC〕ベースモデル	¥W2k¥Trident¥Readme.txt
	〔MC〕タッチパネルモデル	¥Update¥Display¥Trident¥Readme.txt
サウンドドライバ	〔NA〕	¥W2k¥Esaudio¥Readme.txt
	〔MF〕〔MC〕	¥W2k¥Mxaudio¥Readme.txt
LAN ドライバ	LAN モデルとコンボモデル	¥W2k¥Landrv¥Readme.txt
タッチパネルドライバ	〔MC〕タッチパネルモデル	¥W2k¥Tpanel¥Readme.txt
モデムドライバ	モデムモデル	¥W2k¥LBModem¥Readme.txt
	コンボモデル	¥W2k¥LTModem¥Readme.txt

この表以外のドライバについては、「ドライバーズ CD」内の「Indexcd.htm」で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。
なお、〔NU〕のサウンドドライバのインストール手順につきましては、「こんなときには」（→ P.66）をご覧ください。

プレインストールソフトのインストール

ここでは、ご購入時にインストールされているソフトウェアのインストール方法について記述しています。アンインストールしたソフトウェアを再度インストールする場合のみ、次の方法でインストールしてください。

POINT

- カスタムメイドオプションのアプリケーションをインストールする方法は、各アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

PMSet98 のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥pmset98¥setup.exe

   このあとは、メッセージに従って操作します。インストールが終了したら次の操作を行ってください。
5. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「PMSet98」の順にクリックし、「1. PMSet98」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。
6. 「リンク先」の最後に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   /A　/X

   POINT

   - 各「/」の前に必ず空白を入力してください。
7. 「スタート」ボタン→「プログラム」→「スタートアップ」の順にクリックし、「PMSet98」を右クリックして、「プロパティ」をクリックします。
8. 「リンク先」の最後に手順6と同様に次のように入力し、「OK」をクリックします。

   /A　/X

Intel SpeedStep のインストール（FMV-6750NA7/B、FMV-6650NU7/L、FMV-6600NU7/L、FMV-6600MF7/X）

1. 「リカバリ CD-ROM」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥sstep¥setup.exe
   「ようこそ」ダイアログボックスが表示されます。
4. 「次へ」をクリックします。
   「製品ライセンス契約」ダイアログボックスが表示されます。
5. 「はい」をクリックします。
   「セットアップの完了」ダイアログボックスが表示されます。
6. 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」をクリックし、「完了」をクリックします。

Windows 環境調査ツール（FM Advisor）のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥fmadv¥advisor¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

Acrobat Reader のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥wk2¥ac¥acrd4jpn.exe
4. 「次へ」を２回クリックします。
5. 「情報」で「OK」をクリックします。
6. 本パソコンを再起動します。

FMV 診断のインストール

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥fmvdiag¥enterprise¥disk1¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

POINT

- インストール後、「スタート」メニューに「FMV 診断」が登録されない場合があります。この場合は、「C:¥Fjuty¥Fmvdiag¥Fmvdiag.exe」を直接起動するか、ショートカットを作成してください。

添付ソフトのインストール

GlidePoint のインストール（〔NU〕〔MF〕）

重 要

- 他のマウスドライバをインストールしている場合、GlidePointのドライバはインストールしないでください。

1 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」をクリックします。

3 「マウスとそのほかのポインティングデバイス」の「PS/2 互換マウスポート」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「PS/2 互換マウスポートのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」をクリックします。

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

5 「次へ」をクリックします。

6 「このデバイスの既知のドライバを...」をチェックし、「次へ」をクリックします。

7 「ディスク使用」をクリックし、「製造元ファイルのコピー元」に次のように入力して「OK」をクリックします。

〔NU〕〔MF〕　[CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥alps

8 次の項目をクリックし、「次へ」をクリックします。

〔NU〕〔MF〕　「Alps pointing-device」

POINT

- 「ドライバ更新の警告」ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。

9 「次へ」をクリックします。

ファイルがコピーされます。

10 「完了」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

11 再起動メッセージが表示されたら、「はい」をクリックしてください。

POINT

- pointing-device（〔NU〕〔MF〕）では、「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックすると、ポインティングデバイスの機能を設定できます。

ワンタッチボタン設定のインストール（〔MF〕〔MC〕）

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

〔MF〕　[CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥qtouch2¥setup.exe
〔MC〕　[CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥qtouch¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

VirusScan のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥vsnt¥setup.exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「サービスアカウント情報」ダイアログボックスでは、Administrators グループの「ユーザー名」とその「パスワード」を入力してください。

FM モバイルスイッチャーのインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥mobswch¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

FMKEEPER のインストール

インストール手順につきましては、「ドライバーズ CD」内の
「¥W2k¥FMkeeper¥FMKEEPER¥Readme.txt」をご覧ください。

10 円メールマスターのインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROMドライブ]:¥w2k¥10mail¥10mail¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

FM-Menu のインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥fmmenu¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

光磁気ディスク・ユーティリティのインストール

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「ドライバーズ CD」をセットします。
3. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
4. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥moformat¥moformat.msi

このあとは、メッセージに従って操作します。

はじめよう！インターネット（@nifty）のインストール

1. 「ドライバーズ CD」をセットします。
2. 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。
   [CD-ROM ドライブ]:¥w2k¥niftysgn¥niftysgn¥setup.exe

このあとは、メッセージに従って操作します。

NIFTY MANAGER のインストール

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「ドライバーズ CD」をセットします。

3 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」の順にクリックします。

4 「名前」に次のように入力し、「OK」をクリックします。

[CD-ROMドライブ]:¥w2k¥nifty¥niftynim¥setup.exe

インストールが始まります。次のポイントを参照し、メッセージに従って操作してください。

POINT

- 「NIFTY MANAGER for Windows 3.1 をインストール済みの場合その ID、アクセスポイント等を引き継ぐことが可能です」と表示されたら、「いいえ」をクリックしてください。

第4章

困ったときに

4

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

1　こんなときには 64
2　それでも解決できないときは 71

1　こんなときには

ここでは、Windows2000 の使用時に直面する問題について、Q&A 形式でまとめています。また、トラブルが発生したときや困ったときの参照先を説明しています。

トラブル発生時の参照先

Windows2000 に関して

添付の Windows2000 のマニュアルか、「スタート」メニューに登録されているオンラインヘルプをご覧ください。

ハードウェアに関して

『ハードウェアガイド』をご覧ください。

トラブルシューティング

Q　プログラムが動かなくなってしまった

A　1 【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押します。
「Windows のセキュリティ」ウィンドウが表示されます。
2 「タスクマネージャ」をクリックします。
「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。
3 動かなくなったプログラムを選択し、「タスクの終了」をクリックします。
プログラムが強制終了されます。
「Windows タスクマネージャ」ダイアログボックスを閉じます。

POINT

- プログラムを強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- プログラムを強制終了した場合は、次の手順でディスクをチェックすることをお勧めします。
  1 実行中のプログラムをすべて終了します。
  2 「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
  3 プログラムをインストールしてあるディスクを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
  4 「ツール」タブをクリックし、「エラーチェック」の「チェックする」をクリックします。
  5 「チェックディスクのオプション」内の項目をチェックし、「開始」をクリックします。
  「ファイルシステムエラーを自動的に修復する」をチェックし、C ドライブを検査する場合は、「次回のシステム再起動時に、このディスクの検査をスケジュールしますか？」と表示されます。「はい」をクリックすると、次回 Windows2000 起動時にエラーのチェックが行われます。それ以外の場合は、ディスクのチェックが開始されます。終了すると「ディスクの検査が完了しました。」と表示されます。
  6 「OK」をクリックします。

Q　ポインティングデバイスが使えないため、Windows2000 を終了できない

A　キーボードを使って Windows2000 を終了できます。

1 【Windows】キーまたは【Ctrl】+【Esc】キーを押します。
「スタート」メニューが表示されます。
2 【↑】【↓】キーで「シャットダウン」を選択し、【Enter】キーを押します。
「Windows のシャットダウン」ダイアログボックスが表示されます。
3 【↑】【↓】キーで「シャットダウン」を選択し、【Enter】キーを押します。
Windows2000 が終了します。

ポインティングデバイスが故障している場合は、弊社パーソナルエコーセンターまたはご購入元に連絡してください。

Q　ディスプレイドライバ、サウンドドライバ、LAN ドライバおよびタッチパネルドライバ（〔MC〕タッチパネルモデル）が正しく動作しない

A1　Windows2000 が起動されないときは、Safe モードで起動してから、ドライバをインストールしてください。

手順は次のとおりです。
1 本パソコンの電源を入れます。
2 「Windows を起動しています ...」と表示されたら、【F8】キーを押します。
3 「Windows 2000 拡張オプションメニュー」が表示されます。
4 「セーフモード」を選択し、【Enter】キーを押します。
5 「オペレーティングシステムの選択」が表示されます。
6 「Microsoft Windows 2000 Professional」を選択し、【Enter】キーを押します。
7 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
8 「Windows はセーフモードで実行されています。」と表示されます。
9 「OK」をクリックします。

A2　各ドライバをインストールし直す必要があります。

お使いの機種に対応する各ドライバは、「デバイス一覧」（→ P.22）でご確認ください。
インストール方法については、「ドライバのインストール」（→ P.54）で該当するドライバのフォルダ名称を確認し、フォルダ内の Readme.txt をご覧ください。

A3　〔NU〕のサウンドドライバのインストール手順は次のとおりです。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
4「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ」の「YAMAHA Legacy DS1 WDM Driver」を選択します。
5「削除」をクリックします。
「デバイスの削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
6「OK」をクリックします。
7「YAMAHA Native DS1 WDM Driver」を選択します。
8「削除」をクリックします。
「デバイスの削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。
9「OK」をクリックします。
10「デバイスマネージャ」ダイアログボックスを閉じます。
11「システムのプロパティ」ダイアログボックスで「OK」クリックします。
12 本パソコンを再起動します。
13 Administrators グループでログオンします。
しばらくすると「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、自動的にドライバがインストールされます。

Q　PC カードが使えない

A1　PC カードのドライバはインストールされていますか？

Windows2000 にあらかじめ登録されていない PC カードの場合は、PC カードに添付されているドライバ（Windows2000 対応のもの）をインストールする必要があります。PC カードに添付のマニュアルをご覧ください。

A2　IRQ リソースは足りていますか？

IRQ リソースが不足する場合があります。次の操作を行ってください。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
4 お使いにならないデバイス（プリンタなら「ポート（COM と LPT)」など）をダブルクリックします。
5「プリンタポート（LPT1)」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
6「全般」タブの「デバイスの使用状況」を「このデバイスを使わない（無効）」に設定します。
7「OK」をクリックします。
8 すべてのダイアログボックスを閉じます。

Q　アプリケーションのインストールが正常に行われない

A　ウイルス検索ソフトを起動している場合、その影響が考えられます。
ウイルス検索ソフトを終了させ、アプリケーションのインストールができるか試してください。
ウイルス検索ソフトを終了させてもインストールが正常に行われないときは、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

Q　オンラインヘルプやエラーメッセージの対処方法を参照しても原因がわからない

A　本パソコンでは、次のパソコン診断アプリケーションを用意しています。

FM Advisor

FM Advisor の使用方法は、次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「プログラム」→「FM　Advisor」→「FM　Advisor」の順にクリックします。
調査結果が表示されます。

FMV 診断

FMV 診断の使用方法は次のとおりです。

1「スタート」ボタン→「FMV 診断」の順にクリックします。
このあとはメッセージに従って操作してください。

POINT

- 起動中のアプリケーションや常駐プログラムはすべて終了してください。
- スクリーンセーバーは「なし」に設定してください。
- フロッピーディスクドライブを診断する場合は、フォーマット済みのフロッピーディスクをセットしてください。
- CD-ROM ドライブを診断する場合は、お手持ちの CD-ROM をセットしてください。

Windows2000 に関する Q&A

Q　Windows2000 で光磁気ディスクを使用するには？

A　PC カード（SCSI）接続の光磁気ディスクドライブを使用できます。

Q　光磁気ディスクドライブをスーパーフロッピー形式で使用するには？

A　光磁気ディスクドライブの設定は必要ありません。光磁気ディスクをスーパーフロッピー形式でフォーマットするには、本パソコンに添付の「光磁気ディスク・ユーティリティ」をインストールしてください（→ P.60）。
なお、光磁気ディスク・ユーティリティの使用方法については、「ドライバーズ CD」の「¥W2k¥Moformat¥Readme.txt」をご覧ください。

Q　キーボードの NumLock がオンの状態で、Windows2000 を起動する方法は？

A　Windows2000 上で【NumLock】キーを押し、NumLock をオンにします。次回起動時からは、NumLock がオンの状態で Windows2000 が起動されます。

Q Windows95 や MS-DOS のように、パソコン同士をシリアルケーブルで接続してデータのやりとりができますか？

A RAS（Remote Access Service）の機能を使うことによって、シリアルケーブル接続でのデータのやりとりが可能です。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「コントロールパネル」ウィンドウの「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。
3 所在地情報を入力するダイアログボックスが表示された場合は、所在地の設定を行い「OK」をクリックします。
「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスが表示されます。
4「モデム」タブをクリックし、「追加」をクリックします。
「ハードウェアの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。
5「モデムを一覧から選択するので検出しない」をチェックし、「次へ」をクリックします。
6「製造元」から「(標準モデムの種類)」を、「モデル」から「2 台のコンピュータ間の通信ケーブル」を選択し、「次へ」をクリックします。
7「選択したポート」をクリックし、表示されている COMn（n には数字が表示されています）をクリックして、「次へ」をクリックします。
8「完了」をクリックします。
9「電話とモデムのオプション」ダイアログボックスで「OK」をクリックします。

Q ログオン時のパスワードに、大文字、小文字の区別はありますか？

A あります。

Q 自動ログオン（パスワード入力なしでログオンすること）の設定方法は？

A Windows2000 セットアップ時に「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある」を選択した場合は、ログオン時に「Windows へログオン」ダイアログボックスが表示され、パスワードの入力を求められます。次の手順で自動ログオンが可能になります。なお、自動ログオンは、本パソコンがネットワーク上にないか、ドメインのないネットワークに接続している場合に設定できます。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザーとパスワード」アイコンをダブルクリックします。
「ユーザーとパスワード」ダイアログボックスが表示されます。
3 自動ログオンするユーザー名をクリックし、「このコンピュータを使うには、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります」のチェックを外します。
4「OK」をクリックします。
「自動ログオン」ダイアログボックスが表示されます。
5「パスワード」と「パスワードの確認入力」にパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

POINT

- 自動ログオン機能を使用した場合、正規ユーザー以外が本パソコンを使用したり、ネットワークにログインしたりすることが可能になります。セキュリティ上の問題が発生する場合、自動ログオン機能を使用しないでください。
- ネットワーク環境で自動ログオン機能を使用する場合、起動時にサーバーに接続できない場合があります。この場合は、サーバーへの再接続を行ってください。

Q WindowsNT のように【Ctrl】+【Alt】+【Delete】キーを押してからログオンするには？

A 次の手順で設定してください。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「コントロールパネル」ウィンドウの「ユーザーとパスワード」アイコンをダブルクリックします。
「ユーザーとパスワード」ダイアログボックスが表示されます。
3「詳細」タブをクリックします。
4「ブート時のセキュリティ設定」の「ユーザーがログオンする前には必ず Ctrl+Alt+Del キーを押す」をチェックし、「OK」をクリックします。

POINT

- 自動ログオン機能を有効にしている場合は自動ログオン機能が優先されるため、電源を入れたときや再起動したときには、キー入力は求められません。スタンバイや休止状態からの復帰時にのみキー入力を求められます。

Q マウスポインタのデザインを変えるには？

A 「コントロールパネル」ウィンドウの「マウス」アイコンをダブルクリックし、「ポインタ」タブで設定してください。

Q ファイルシステムを NTFS に変換する方法は？

A ファイルシステムを NTFS に変換すると、セキュリティや信頼性を強化できます。変換方法は、次のとおりです。

POINT

- NTFS に変換した場合、Windows2000、WindowsNT 4.0（Service Pack4 以降）以外の OS からは、ファイルにアクセスできなくなります。
- すでに作成されているショートカットから、アプリケーションが起動できなくなる場合があります。このときは、ショートカットを削除し、再度作成してください。
- NTFS区画のドライブに対してchkdsk.exeを実行しないでください。問題が発生することがあります。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」の順にクリックします。
3 次のように入力し、【Enter】キーを押します。

```
convert  n:  /fs:ntfs  /v
```

（n には、ファイルシステムを変換するドライブ名を指定します）

C ドライブを変換する場合は、次のメッセージが表示されます。

「ファイルシステムの種類は FAT です。
CONVERT で C: ドライブへの排他的アクセスを実行できないため、現時点では変換できません。次回のシステム再起動時にドライブの変換をスケジュールしますか (Y/N)?」

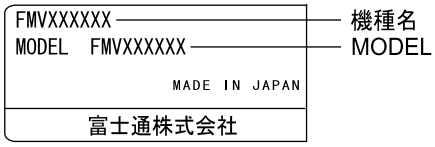
4【Y】キーを押し、【Enter】キーを押します。
5「コマンドプロンプト」ウィンドウを閉じ、Windows2000 を再起動します。
変換が行われます。このとき、Windows2000 は 2 回再起動します。

2　それでも解決できないときは

下記の連絡先へお問い合わせください。なお、お問い合わせ前に機種名と MODEL を確認し、次のページのシートに環境とトラブル状況などを記入してください。

機種名と MODEL の表記場所

パソコン本体下面のラベルに記載されています。



連絡先

こんなときには	こちらへ
添付品の不備	ご購入元
故障かなと思われたとき	弊社パーソナルエコーセンター※またはご購入元
FM シリーズの技術的なご質問・ご相談	FM インフォメーションサービス※
本パソコンにインストールされているソフトウェアのお問い合わせ	本書の冒頭に記載されている「お問い合わせ一覧」(→ P.5)

※：パーソナルエコーセンターと FM インフォメーションサービスの連絡先は、添付の『修理サービス網一覧表』をご覧ください。

情報サービス

また、次の方法で情報サービスを行っております。

富士通パソコン FAX サービス （カタログ、Q&A 情報）	043-299-3642（千葉） 06-6949-3270（大阪）
インターネット （製品の技術情報、Q&A 情報）	富士通パソコンホームページ FM WORLD http://www.fmworld.net/
FM シリーズの音声による Q&A 情報	FM インフォメーションテレホンガイド 0120-89-2235

お問い合わせ前の確認シート

お使いのパソコンの機種は？	機種名：FMV	
	MODEL：FMV	
	購入日：	購入店：

メモリの容量は？	本体標準：　　MB	
	増設：　　MB	［メーカー：　　］ ［型番：　　］

	種類	型番号	メーカー
増設した周辺機器は？			

	ソフトウェア名	バージョン／レベル	メーカー
お使いのソフトウェアは？	Windows 2000 Professional	5.00.2195	—

トラブル状況

トラブルの内容は？	
何をしているときに起こりましたか？	
エラーメッセージは表示されましたか？その内容は何ですか？	
以前は問題なく動作していましたか？	・ 以前は動作した ・ 今回初めて試した ・ 以前から動作しない

第 5 章
技術情報

お使いになるうえでの留意事項を説明しています。

1　その他の留意事項 74

1　その他の留意事項

本パソコンをお使いになるうえでの留意事項を記載しています。

Windows2000 の CD-ROM を要求された場合

ドライバのインストール時などに、「Windows2000」の CD-ROM を要求される場合があります。このときは、「c:¥support¥i386」を指定してください。

重　要

- 上記フォルダは削除しないでください。削除すると、ネットワークコンポーネントの追加などができなくなります。

本パソコンで使用するソフトウェア

古いバージョン／レベルのソフトウェア（アプリケーション、ドライバ）を使用すると、本パソコンおよびソフトウェアが正常に動作しない場合があります。本パソコンに添付されているソフトウェアは、添付されているバージョンを使用するか、その最新版を入手して使用してください。
また、本パソコンに添付されていないソフトウェアの場合も、最新版を使用してください。

Acrobat Reader について

市販のアプリケーションによっては、インストールの際に、Acrobat Reader を一緒にインストールするものがあります。このとき、本パソコンにプレインストールされている Acrobat Reader 4.05 よりも低いバージョンのものがインストールされてしまうことがあります。
バージョンをご確認のうえ、Acrobat Reader 4.05 をインストールし直してください（→ P.56）。

ネットワーク運用時の省電力機能

ネットワーク環境下で省電力状態へ移行すると、お使いになるアプリケーションによっては、復旧後に不具合が発生する場合があります。
不具合が発生した場合は、本パソコンを再起動してください。
また、通信中は省電力状態へ移行させないでください。

Wakeup On LAN 機能

ネットワーク環境下で Wakeup On LAN 機能を使用する場合は、次の設定を行ってください。

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。
   「システムのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックします。
   「デバイスマネージャ」ダイアログボックスが表示されます。

4 「ネットワークアダプタ」をダブルクリックします。

5 「Intel 8255x-based PCI Ethernet Adapter (10/100)」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

6 「電源の管理」タブをクリックします。

7 以下の 2 つの項目をチェックし、「OK」をクリックします。
- このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を元に戻すことができるようにする
- 電力の節約のために、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする

Wakeup on LAN 機能を使用すると、ネットワーク状態を最新の情報に更新するためにコンピュータが定期的にアクティブになることがあります。そのため、不適切なときにコンピュータがアクティブになったり、バッテリを消耗する原因となったりする可能性があります。そこで、省電力モードへの移行については、次の手順でタイマ値を設定することをお勧めします。

1 Administrators グループのメンバーとしてログオンします。

2 「コントロールパネル」ウィンドウの「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。
「電源オプションのプロパティ」ダイアログボックスが表示されます。

3 「電源設定」タブの「システム スタンバイ」または「システム休止状態」を「20 分後」以上に設定します。

POINT

- 設定値が 20 分より短いと、パソコン本体が省電力モードに移行していても他のコンピュータからの接続確認データを受信して、省電力モードから復帰してしまう場合があります。なるべく 20 分よりも長い値を設定してください。

ネットワーク使用時の留意事項

次の LAN デバイスを複数使用したネットワーク運用は行えません。

- 2 枚の LAN カード
- パソコン本体の内蔵 LAN デバイスと LAN カード

LAN の設定を変更する（LAN モデルとコンボモデル）

次の場合、ご使用になる環境に合わせて設定を行ってください。

- 本パソコンをハブユニットに接続した時、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどへ接続できない

■ ローカルアドレスを使用する

重 要

- Intel(R) PROSet はパラメータの変更のみにご使用ください。

1. Administrators グループのメンバーとしてログオンします。
2. 「コントロールパネル」ウィンドウの「Intel(R) PROSet」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Advanced」タブをクリックします。
   - スピードとデュプレックスの設定

     本パソコンをハブユニットに接続したとき、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどへ接続できない場合は、以下の設定を変更してください。

     Link Speed & Duplex :「Setting」の「Link Speed & Duplex」をクリックし、「Value」から通信速度／通信方式を指定します。

     100Mbps/Full Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。

     100Mbps/Half Duplex … 100Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

     10Mbps/Full Duplex … 10Mbps で通信を行い、「送信」「受信」に専用のラインを使用して同時に通信を行います。

     10Mbps/Half Duplex … 10Mbps の速度で、「送信」「受信」別々に通信を行います。

     Auto Detect … ハブユニットと通信を行い、「通信速度」「通信方式」を自動的に決定します。

     POINT

     - Full Duplexに設定する場合、ハブユニット側もFull Duplexに設定する必要があります。

   - ローカルアドレスの設定

     ローカルアドレスを使用する場合は、以下の設定を変更してください。

     Locally Administered Address :「Setting」の「Locally AdministeredAddress」をクリックし、「Value」に「02」で始まる 16 進 12 桁を入力します。

     グローバルアドレスに戻したい場合は、「Restore Default」ボタンをクリックします。なお、設定する値については、ネットワーク管理者に確認してください。
4. 「OK」をクリックします。
5. すべてのダイアログボックスを閉じます。

携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102）を使用した移動体通信

本パソコンでは、「携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102）」を使用して、移動体通信ができます。「携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル（FMV-CBL101/102）」の取り扱い方法については、「ドライバーズCD」の「Fjusb」フォルダにある Readme.txt をご覧ください。

■ 使用できる携帯電話 ／ PHS

使用できる携帯電話／ PHS については、富士通パソコンホームページ FM WORLD（http://www.fmworld.net/）をご覧ください。使用できるかどうかの確認は、Internet Explorer 4.0、Outlook Express、Hyper Terminal、10 円メールマスター Ver.2 などで行っています。

■ 留意事項

- 別売のケーブルに「FMV-CBL101 FMV-CBL102 ドライバ CD V1.0.01」が添付されている場合がありますが、添付の CD は使用しないでください。
- 通信アプリケーションが起動している場合は、アプリケーションを終了してからケーブルを接続してください。
- AT コマンドは、電話回線で通信するためのドライバと仕様が異なります。
- 携帯電話／PHS接続用USBケーブルでの通信後にスタンバイできない場合があります。この場合は、パソコン本体からケーブルを取り外してからスタンバイしてください。
- 移動中は、電波の状況などにより通信が切断されることがあります。
- 電波状況によっては、通信が途中で切断される場合があります。この場合、携帯電話や PHS での通信が切断されていても、通信アプリケーションの通信が切断されていないことがあります。このようなときは、いったん通信アプリケーションでの通信を終了してから、もう一度通信を行ってください。
- 通信中または通信アプリケーションを起動中には、スタンバイや休止状態にはできません。
- 本体内蔵モデムと同時に使用することはできません。
- USB コネクタに接続した携帯電話や PHS どうしでの対向接続はできません。
- PHS をケーブルに接続する場合は、Windows が起動した状態で行ってください。
- 携帯電話接続用USBケーブルで通信中にMicrosoft® NetMeetingを使用すると、本パソコンの動作が遅くなる場合があります。この場合は、本パソコンを再起動してください。
- 携帯電話接続用 USB ケーブルを NTT DoCoMo Doccimo に接続してお使いになる場合、Doccimo のモードを携帯電話から PHS、または PHS から携帯電話に変更するときは、いったん携帯電話から接続ケーブルを取り外し、再度接続してください。
- 携帯電話接続用 USB ケーブルで、大容量のファイルやメールの送受信を同時に複数行うと、途中でデータの送受信が止まってしまうことがあります。この場合は、1 つずつ送受信を行ってください。

フロッピーディスクドライブユニットの着脱（〔MF〕〔MC〕）

フロッピーディスクドライブユニットが接続されていない状態で A ドライブにアクセスすると、応答に時間がかかる場合があります。

内蔵モデム経由でナンバーディスプレイ対応の電話番号に接続するには（モデムモデルとコンボモデル）

「184」「186」を付けてダイヤルすると正常に接続できない場合があります。「184」「186」と接続先の電話番号の間に「,（カンマ）」を入れてダイヤルしてください。

タッチパネルドライバの留意事項（〔MC〕タッチパネルモデル）

タッチパネルドライバがインストールされている場合は、PS/2 マウスでのホイール機能はサポートしておりません。

「コンポーネントサービス」の留意事項

「コンポーネントサービス」の「コンピュータ」はログオン後 10 分ほど経過してから開くようにしてください。
ログオン後すぐに「コントロールパネル」ウィンドウー「管理ツール」内の「コンポーネントサービス」を起動し、「コンソールルート」－「コンポーネントサービス」－「コンピュータ」を開こうとすると、まれにアプリケーションエラーが起きることがあります。このエラーが起こると、本パソコンの動作が不安定になります。
この場合は、本パソコンを再起動してください。再起動後は問題なくお使いになれます。

CD-ROM ドライブユニットの留意事項

「コンピュータの管理」で「記憶域」－「リムーバブル記憶域」－「物理的な場所」を表示した場合、CD-ROM ドライブユニットが 1 つしかないにもかかわらず 2 つ表示されることがあります。この場合は、赤い×印のついているドライブを選択し、「操作」－「削除」メニューを選択して削除してください。

Outlook Express のパスワードについて

Administrator でログオン時に、インターネット接続ウィザード中に設定したメールのパスワードが、Outlook Express に反映されません。
Outlook Express 起動後にメールのパスワードをもう一度設定してください。

インターネットに接続されていない環境でのオンラインサポートについて

インターネットに接続されていない環境では、オンラインサポートをご利用になることはできません。お手数ですがインターネットに接続してから実行してください。
富士通パソコンホームページ FM WORLD：http://www.fmworld.net/

Office2000 オプションをご利用の場合

デスクトップの「マイネットワーク」アイコン→「ネットワーク全体」→「コンピュータの検索」の順にクリックするとエラーが表示されることがあります。この場合は、Office2000 に含まれるアプリケーション（Word や Excel など）を起動後に検索を行ってください。

ドライブの割り当て

- Windows2000 では、3.5 インチ FDD ユニット（FMV-NFD324）が、ご購入時に「A:」ドライブに割り当てられます。
- コマンドプロンプト上と Windows 上では、ドライブの割り当てが異なることがあります。

索引

記号

10 円メールマスター 21
　ーのインストール 59

A

Acrobat Reader 20
　ーのインストール 56

C

CD-ROM ドライブ 22

D

DirectX7.0a. 20

F

FAT16 24
FAT32 24
FDISK 49
FM Advisor 20, 67
FMKEEPER 21
　ーのインストール 59
FM-Menu 21
　ーのインストール 60
FMV 診断 20, 67
　ーのインストール 57
FM モバイルスイッチャー. 21
　ーのインストール 59

G

GlidePoint 21
　ーのインストール 57

I

IDE ATA/ATAPI コントローラ 22
Intel SpeedStep 20, 44
　ーのインストール 56
Internet Explorer 5.0 20

L

LAN の設定を変更する. 75

M

Microsoft IME 2000 20
MODEL. 71

N

NIFTY MANAGER. 21
　ーのインストール 61
NTFS. 24
　ーへの変換 69
NumLock 67

P

PCMCIA アダプタ 22
PHS 接続用 USB ケーブル 77
PMSet98. . . . . .20, 44
　ーのインストール 55

Q

Q&A. 67

U

USB（Universal Serial Bus）
コントローラ 22

V

VirusScan 21, 28
　ーのインストール 59

W

Wakeup On LAN 機能. 74
Windows2000 20
　ーセットアップ 10
　ーの CD-ROM 74
Windows 環境調査ツール
（FM Advisor）. 20
　ーのインストール 56

あ

アンインストール. 25
色数 31
液晶ディスプレイの明るさを
変更する 45
お問い合わせ前の確認シート. 72

か

解像度 31
キーボード. 22
機種名 71
休止状態 38, 43
携帯電話接続用 USB ケーブル. 77
コンピュータ. 22
コンピュータウイルス
　ーの被害届け. 29
　ーを発見した場合. 29

さ

サウンド、ビデオ、および
ゲームコントローラ. 23
自動ログオン. 68
情報サービス. 71
情報処理振興事業協会. 29
シリアルケーブル接続. 68
スタンバイ. 38
スタンバイモード. 38, 40
スタンバイ／レジューム機能の注意. . . 39
赤外線デバイス. 24

た

タッチパネル
　ードライバの注意事項. 78
　ーの調整. 15
ディスプレイアダプタ. 23
動作状態 42
ドライバーズ CD 54
ドライブ構成. 24
トラブルシューティング. 64

な

ネットワーク
　ー ID の設定. 13
　ーアダプタ. 23
　ー運用時の省電力機能. 74
　ーコンポーネントのインストール. . 13
　ー使用時の注意事項. 75
　ーの設定. 13

は

ハードディスクの領域を設定する. 49
はじめよう！インターネット
（@nifty）. 21
　ーのインストール. 60
パスワード 68
光磁気ディスク 67
　ードライブをスーパーフロッピー
　　形式で使用する. 67
光磁気ディスク・ユーティリティ. . 21, 67
　ーのインストール. 60
表示装置を切り換える 34
ファイルシステム 24
富士通 3 モードフロッピーディスク
ドライバ 20
プレインストール
　ー仕様. 20
　ーソフト. 20
フロッピーディスク
　ーコントローラ. 23
　ードライブ. 23
　ードライブユニット. 77
ポート（COM と LPT）. 24

ま

マウスとそのほかのポインティング
デバイス 24
マウスポインタのデザインを変える. . . 69
モデム 24
　ーを使用可能にする. 14
モニタ 24

や

ユーザー登録 17

ら

リカバリ 48, 51
リカバリ CD-ROM 48
リカバリ CD-ROM 起動ディスク 48
　ーの機種用設定 18
　ーのコピー 17
レジューム 41
連絡先 71

わ

ワイヤレスリンク 46
ワンタッチボタン設定 21
　ーのインストール 58

FMV-6750NA7/B　FMV-6650NU7/L
FMV-6600NU7/L　FMV-650NU7C/L
FMV-650NU7C/W　FMV-6600MF7/X
FMV-645MF7C/W　FMV-645MC7C/W

Windows® 2000 モデル
ソフトウェアガイド
B5FH-0521-01-00

発 行 日　2000 年 6 月
発行責任　富士通株式会社

● 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
● 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
● 無断転載を禁じます。